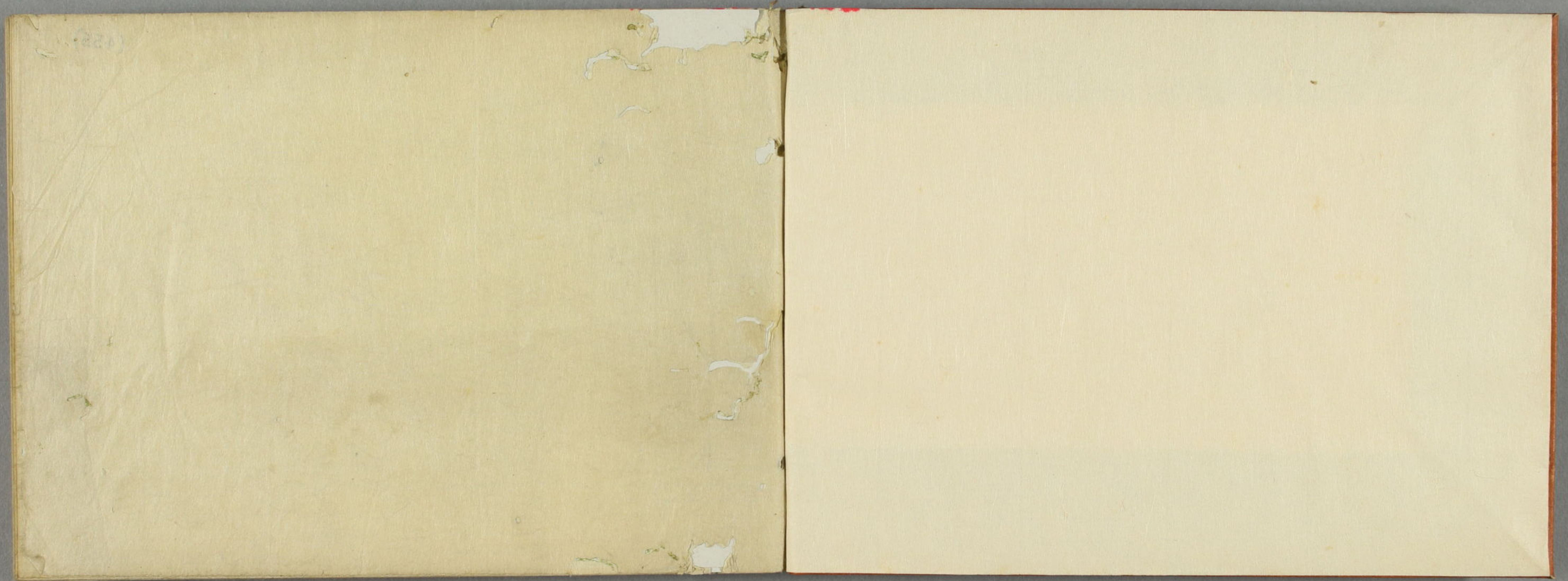




ワ 3
3645
455





(455)

門 73
號 3645
卷 455

一 入子首ノ一 是ハ名モナキ首甲 或ハ海老ノ

活来片ノ一 右ノ首ノ末ノし名香ヲタキ

見ヘ一 其片カノ香ノ相互ニ之ハ實ノ香

ナリ 横ニタツハ入子首ノ一

一 張子ノ推融玉皇帝ノ一 房毛髪ノ一

神道續作ノ一 下ノ白クシク

一 軍訓ノ卷ニスルニカサラヒキモトノ意

元帥ノ始神素戔ノ片 道臣命ヲ以軍師ト

將軍ノヨリ崇神ノ片 正夷ノ号ハ景行ノ片

日本本尊ヲ第ニトシテ片始テ此号ヲナリ

鎌守將軍ハ神印ノ片

正代ハ上ヨリ下ヲウツラフハタト銘ヲタニ

ハ古ノ弁弁ノ意

天子自正代ハ十ヶ國ノ一 國ハ主奴ニ三ヶ國

國司ヲサム四五ヶ國ニ武士ヲ收軍ト任シ是ヲ

ヲサム

諸國ハ融アル片 收軍ヲツカワカルニ唐ニテ

弁 鐵ヲタニハル日本ノ年長ハハタニ

ハノスヲ下サレ是ヲ節カト云此スヲ持リ

ハハスヲ一馬ヲキ取らん 云々ノ意

コトニ夜登リ千レ一キヒカニミテニニ節カト

云 其後ハ此ノ條ノ一

政刺時方の一の身をもたれて備えテキヲ

云 其後ハ此ノ條ノ一

少シタルヲ先手ニ中ニホリ又中ノ管アリト云
弓矢詞多文ハ甚クヤキアクニテ用算ニカリト
ウスヤフト

職

弁儀トハ弁度ナリ候ハ寢トヨムヒロク寢ヲ多
軍神勸誘ノトキハウイヲフエヒラフアエイ
ヲフトニホニホメニホコヲキカケル時左
履ヲフリ諸卒道初年後高勝片ハ初高
後早ニ度モリクヲフモクヲフエイヲフ
トキヲ揚ヒ春夏た初年左

記

耳鼻カキヤリ年ハニヲヤ鼻ハ上ヒレツヤ
二三騎ヲ仗兵ニ三騎ヲ覆カトヲ
手ハタトキ一異國ニテ籠ヲコキ籠トヲ
長キヲ獲テ短キヲコキハタ

一六具

羽袖甲喉蹄小手幅當
乳隠天衣地衣表帯一快吃門外云々

一六具

卷震倍日域中華ヨリハ東ニ當シ依
人ノ頭ヲ束ニヨリハ震ムスハトヲ
執事トハ執權ノ一ハ錦倉ノ付ハ執事ノ尊氏
執事義満ヨリハ官領信長ノ時ハ大老
地衣前六ヒク後四ヒク又前十二後六ツマ
アリ

金皆然の毛ナリ銀金有ニハニ書出トヲ古
年士年ノはスル

一 佛洞ノ一書ニアリ又右乳ツキタルヲミカハラト云又
アハラ骨者ハカキラト云又此之重シラ桶力リ横ニ
重シラ海老トウト云

一 疱疹 疑似 報 痘 出 疹 起 脹 腫 膿 瘡
結 痂 癩 癧

一 武履ノ書武履ヲ履武履カ故武カ履ト云ヨリ佛那
母衣ハ漢ノ子昂ノ故事ト男ハ外強内ヨシ
女ハ外ヨシノ内ツヨシトテアタヘシヨリ
纒ハハシ會出軍ノ氏鏝ノ上ニ紅糸掛日支移
毛ヤカシ

天衣太神ノ羽衣ニ表又 神衣春日ノ神
衣藤氏ニ用
初衣ハ橋氏ニ用皇后ノ江ノ半臂ヲ懷巻ニヨホ
ハレシヨリ
表ハ佛衣

一 裁片統ノ上ニ松葉ヲ敷テ上古ハ三符ヒ賀後
任古ニシタツ庭本ノ松ノ葉小葉クセラカク
トル

一 日取ノ一春ハ不旺又庚辛ハ金ヨリ金對本ト
夏ハ火旺又壬癸ハ水對火ナリ土用ハ土旺又
甲乙ハ木本尅土ナリ秋ハ金西下火出尅金ナリ
丙丁ハ火成己ハ土尅水ナリ以台後ノ時ノ
旺分ニカウニヘテリ寅午申ハ兵福日寅酉巳申

午ハ陽中ノ初天
 曆表十二ノ平山流十三種將ノ表初ノ日
 十五ノ表流ノ流在ノ八左ニセフ十六ノ流
 流十之表流ノ表又ノ流ノ八種表ナリ
 ハ曆又ノ八種ノ表入
 一 所ノ名目中ノ風車ノ町西端ノ年分町左ノ
 二 多ノ地名町右ノ二ノ威徳所ノト云
 一 後詞進ニ出ラテ開入シテ解^カ脱^ツ
 一 四性湯源白平系系モノキ、橋朽系表ニ
 五白ニカキルハ皇居ノ例ナリノ初仁ニ云
 落仁ニ云ルハ白トナリ云

一 咽在ノ中ノ片ハ小礼ナリ

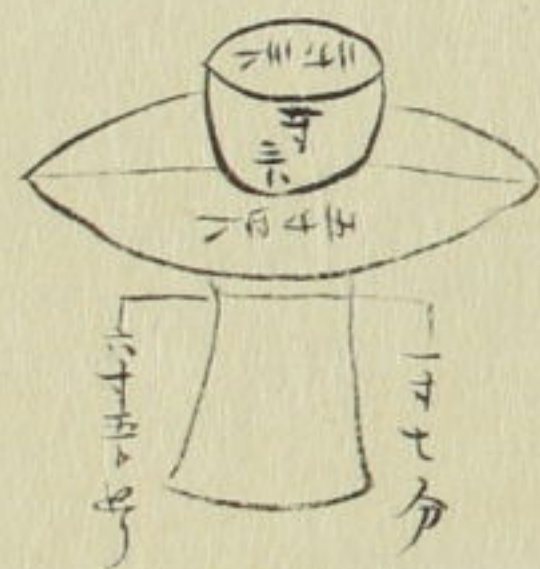
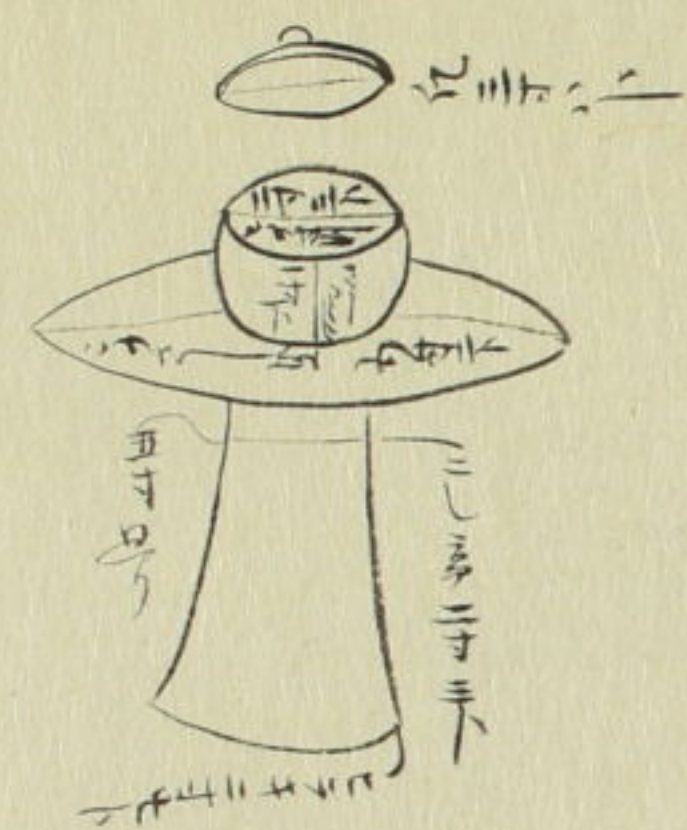
○射礼地奈

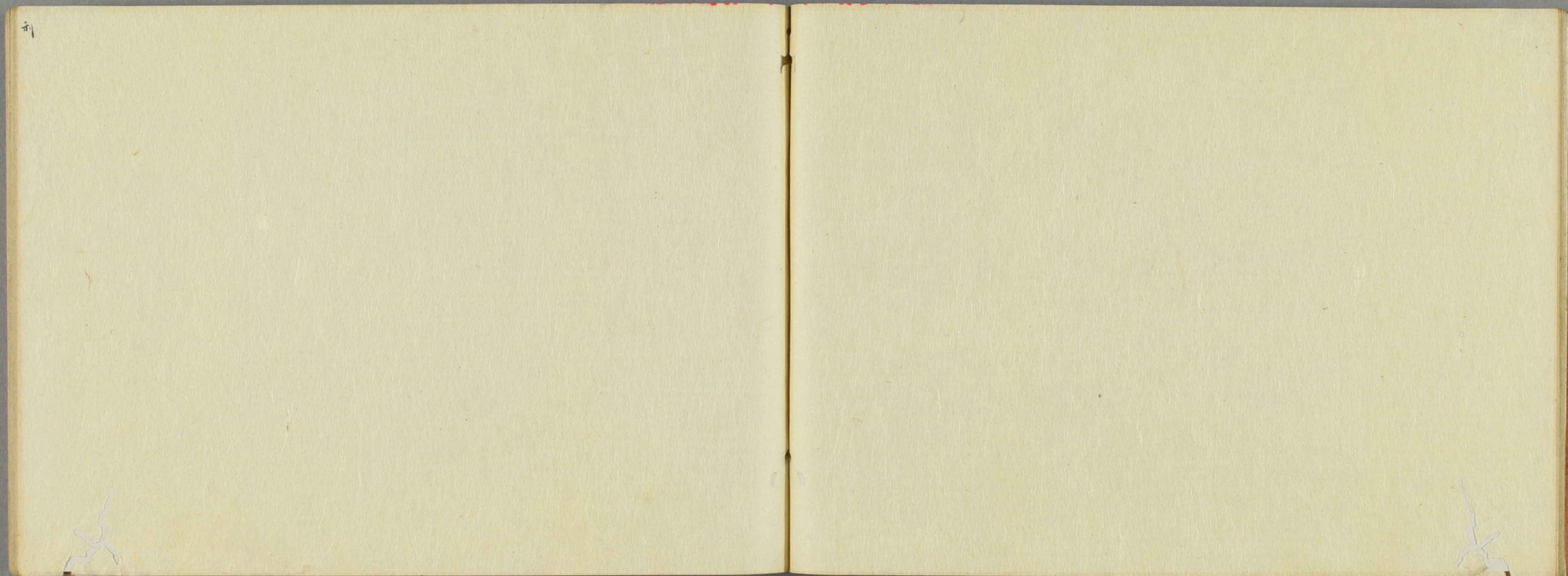
的山ノ初神功皇后三尊ヨリ 降前ノ時筑前多良ノ
渡ニテ葦草ヲ束テの山トシ左右ノカキニ三度草ト云
モノヲ用ラレ細代ノ笠ヲ的トシテ射サシメテ是ヲ異哉
ヲ追テノ祝義シテ其後棚ヲ新ニツクテ北院天皇ノ
三年ニ初ル上古リ射儀トシテ葦又ハ布ヲ供テテ鄭玄
ノ云儀ハ射所ノ布ナリト今當流ノ布ハ射儀ノ形ナリ
布葦ヲ和テ山形ト訓ヌ的場ト云ハ惣名令テ云ハ射手
ノ立所ヲ射場ト射前ト云フ的立所ヲ塚凡の山ト云
社禮ト云ハ地ヲ祭ラ云・天ノ神ヲ祭ラテ祭ト云地ノ神ヲ
祭ルヲ祀ト云

● 三神ノ幣ヲ林ニウツトハ棚ノ上ノ林シ ● 雛形ハ雛ツレニ表
松ヲ植シテ塚ヨリ五秋あり左右ニ植シ大木ノ形ノ枝ハ天長
地久ノ字ヲ以テ後ノ松ニ君ヲ世ノウケヲ伴ヒ是モ是也ハ
ツキコトナリ又天長地久ノ字無辭ノ

● 繩張終ノ古實ノ仁正ホニ青徑行ノミヲ場ヨリ出神拜流
ノ上ニハ幡棚ハ向三神ヲ拜各神名唱テハ棚ニカケテあり
ウ幡夫墓目ヲ取左右ニ持テ日本ノ名ノカヘリ編ハ砂浜ニ
モタセ置テラ墓目ヲ持テカラハ瓶ノ上ニテ甲乙ニテ構此片ハ

● 左中ニモテ右手ハヒカニキテの山ニテ天鹿外道皆伴性
三障成道乘魔界佛界同理一相半等無差別ト三返唱
天ニ向テ引テテキタヒカテ三右ヒカテ又北ニ引テツクハ
編ヲ用ヒテ左ヒカテ右ヒカテ又東南ノ向ハナツクハ





○ ○ 拔九ノ木柵ト云志盛是ヲ工レ後六ノヲ池殿ニ蛇出レ氏ヨリ
 柴柵ハ伊勢塚所持名ノヲ西本間ノニ所三千石ニアヘ

○ 滝原ノ巻 蛙子ハ一才三男ノ筈ナリ一太神ニ蛙子
三月ヨミ 四進雄・及第ト抄スル者ヲ出スルニ

一 ラモカアノ一上モヘキ下水をナリ
 一 志ヲモダア上外ノ包中モヘギ下外をナリ
 一 ラモタカラ武キニ用ヒハ天地ノ卦ヲ請名ユナリ
 一 押挿ヲコラス一昔中宮御難産ノ時七原ノ里ノ
 コシキヲ取ミセテカサコカの上ヲヒタトヨセニ
 而差ト依今難産ハ片モ押挿の底ヲ抑ヌク
 ナリ又正下リカ子生ルハ根トナリコラスカ
 男子ハ南ノ女子ハ北ノ

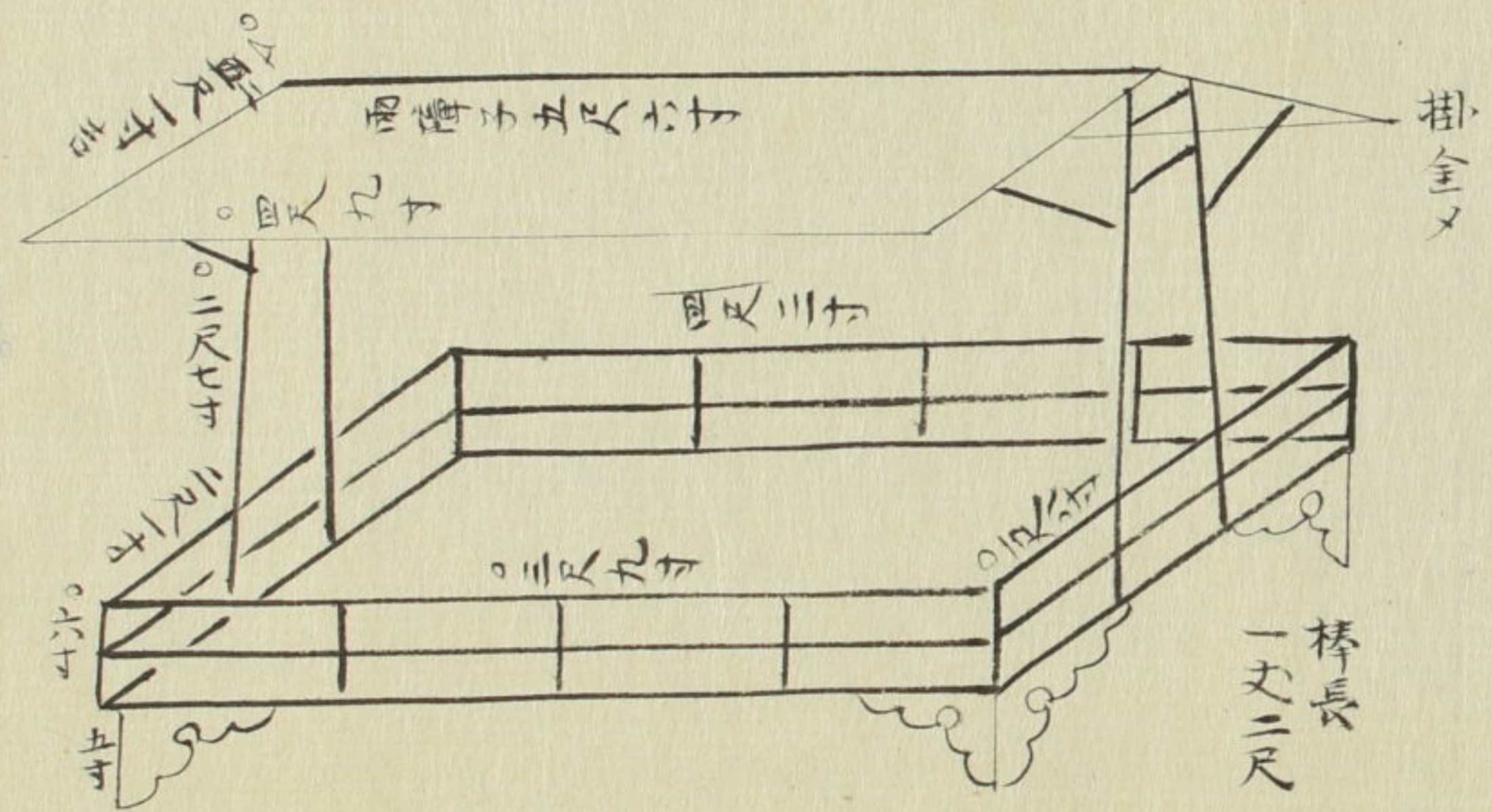
一 大星 一心也是極不定ハ極又ケ物ニ營是ヲ
 終モカヨシニハリ置ハカラス禮ハ和ニ夫ハ
 志也大星定ハ名中ハ云一ナリ
 一 禮ノ元ハ仁也是ニ叶ヤウニスルナリ葉皆是ヨ
 ナ人ニ物ヲ法スニ取ヨキヤウニスル也ナリ
 禮者ノ方乃リ方テ符也主人ノ事ハ
 自屈シシクハ是ノ方路也ナリ
 海出ヨリ時目録取カシ左ノ年ヲモ塞
 禮ハ礼ハ教ハ高持ノ業ヲナラス
 甘旨ノマハ仁ニシクセハ邪出棘ニハ
 元ノマニ相見禮スル片ハ自中ニル手
 候也ゆハなれハ人ヲ抑習ハハ物ヲ
 ケナラス骨ヲ又キ和ラカニ直スル業ト業
 物目立ススケナリ
 遠一 扇ヲ撥右ニ直是飾ヲ取ハフクカレテ取

然ニ在ニヲカレヌ時互ニモ置ヘシ是クエハ飾ヲ取
レカレナレハナリ免身ニ元ニ心ヲ引ルテ所安
ナリメトハハ松ハカナルモノナリ向アル者
ヨリ松ナリ其地宜キ不ヒ松ノタツ比吾キ
コウユレハハタノスト養ヒ是クエナリ秋葉
カ、レ、一、ハ、今、ノ、世、ノ、右、様、ニ、根、エ、ラ、ス、ニ
様、ニ、ス、ヘ、シ

○ 彼ノ元ハ仁ナレハ人ヲ助ルカ奉コト仍人ノ
ユキ所石ヲ手入スル禮ニ叶ハス却テ笑
ヘキニ終トテ我獨スニテモナラス則大星ヲ
後遺フヘシ禮用和シ

○ 予數ホト貴ソシシ金銀ニ及人ノ命ヲ
ツナク仁コサレモ金銀ホト貴ク縁下ニ
捨レハクサルアヘテ人ニ用ラレシテ人モ
又捨レ金銀ナレハ捨トリセ

一 賜引賜精ト一左ヲ賜引右ヲ賜精ト云



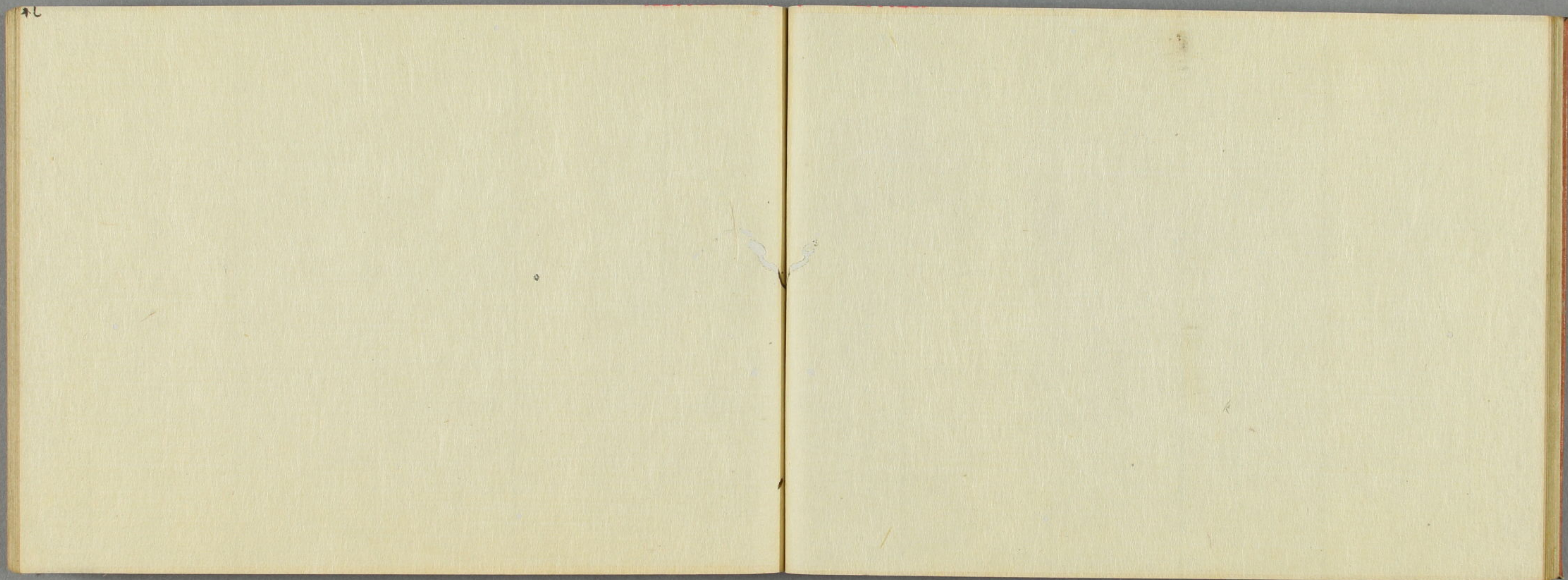
萬年ノ後ラハキレル片ノ一當世ノ龍ニハ九龍十位者ナリ

一タラハ鳥子七枚テ横ニテ持是夫歟願書ノ人々
一太鼓貝ハ春復大コ左秋冬大コ右貝左又甲ノ日大コ左ノ日本書
一太コハワクニ入前モ貝ハアミニ入カラ 蓑ニカテ右ノ脇ニサケル
策圍ハ袋入テ持當ハ柳苔ニセル

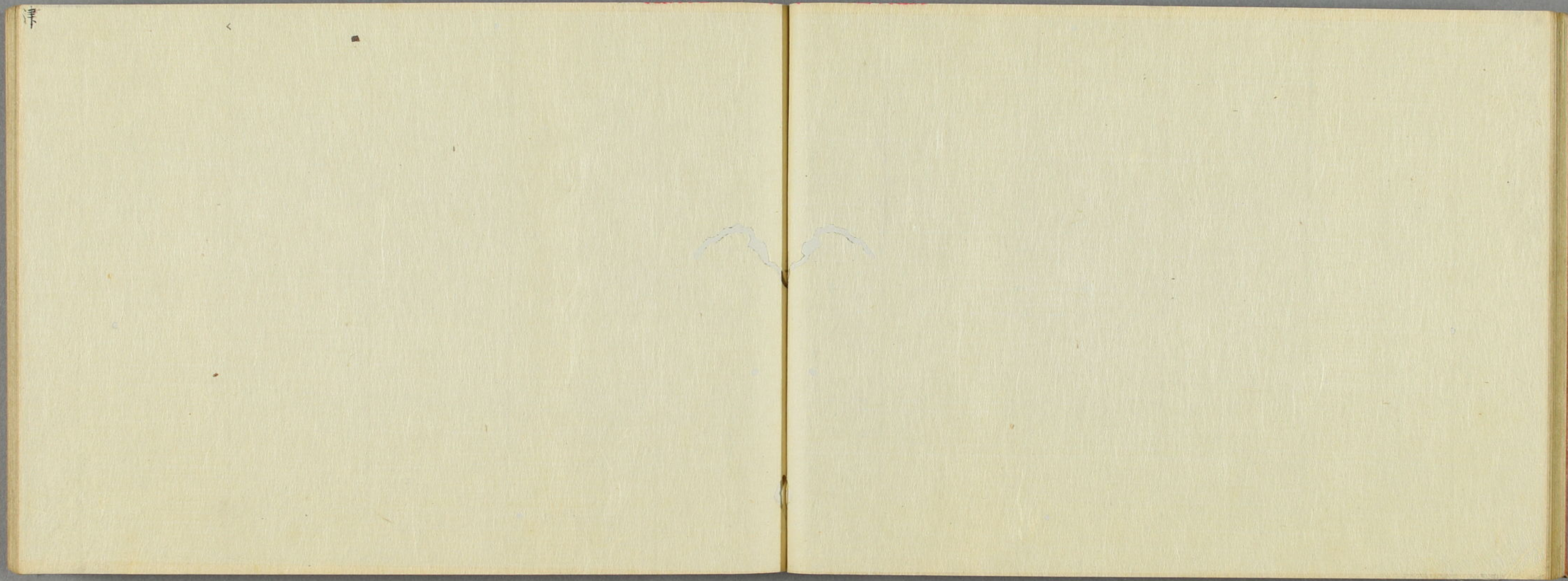
押太報鼓軍報

大筋一太報ノ卷 大キナルヲ太報トキ 度檢子 凡云
月也 伊香氏ハ黃帝ノ臣コトキ 伊香氏土報ヲ創報ハ人氣ヲ
ハシセル 勇メル支ツ司ト古書ニ久キニニ神書ニ念天鳴竟尾午ノ
以天虛木造大噴飯下有是見本初軍中全報ヲ用ハ 齋徳
一軍ハ天皇ヲ片 河内國一村ヨリ 始テ製軍中用神ヲニテ退治ノ
一三三番 片モ有十日本記ニ全或第ナク士卒不調ト也新羅入至ニトフ
一軍師 鼓吹勢ヲ起ニ山川悉ク振テ
一軍師 金ニ退ク氣ナリ十三天梵香天伊舍那天帝秋天火天閻魔天地天
一軍師 月天昆吉門天風天水天羅刹天
一軍師 空ヤ強本堂洞里ツ巴黒洞ニテ五條モクハ先備ハ 彌達ルルニ巴若黒
一軍師 高足尼三手横大コナリ 太コ武者奉行松園ヲ待テウツ

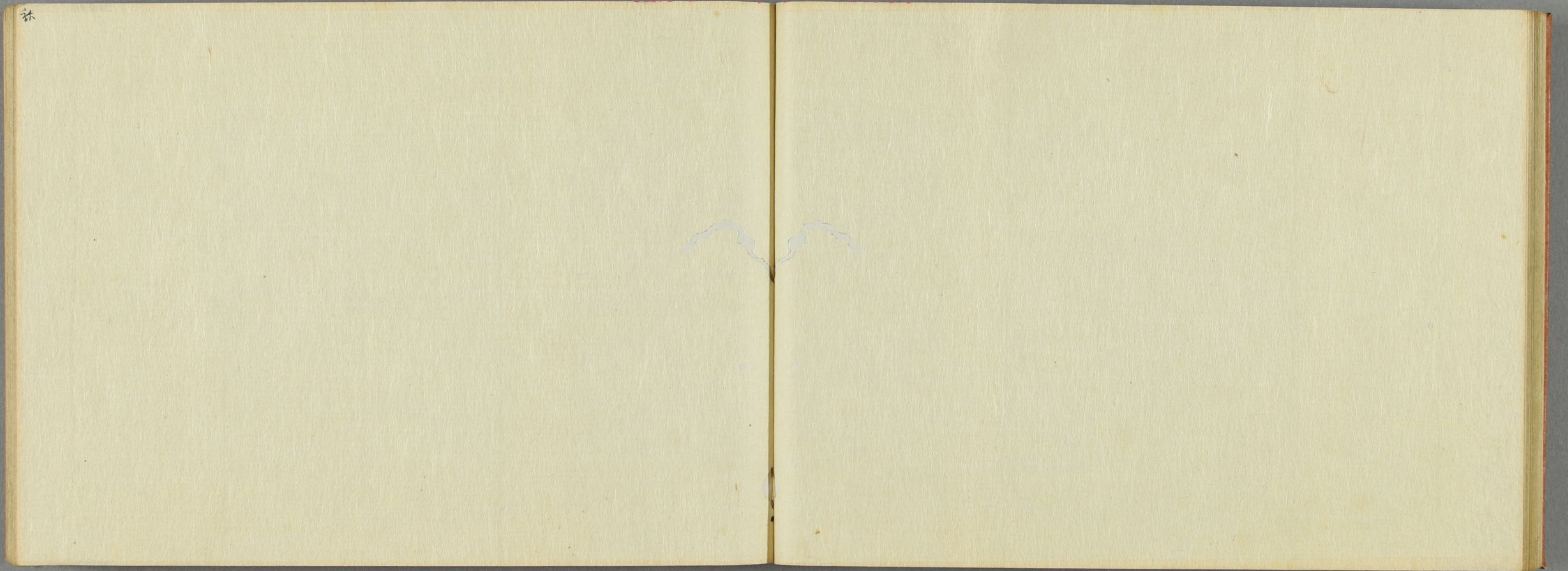
大小色一 天正十五年秀吉公天王寺詣アリ 供奉ノ者大ハサニ
小袴着テトアリ 又空可記西腰ニ云一見ヘタリ此兩腰ハ大小ノ
一ニアラス サヤマキニサカノト



一神ニミナリテ石五ツテ九ニテ此ニ進クハカヒニ見ヘキタメ
 石ニツケルハ進ムハアトヨリ見テ身方トシテスニキタメ
 一神ト神ハナリテタルハ長子形ト云惣ニテ大神一尺五分中ニテ
 八寸ヨリ九寸小神六寸



序



林

一内布ノ志慢帝ハ云唐教ニ惟慢アリ
 一讀テ萬々羅萬々ト訓
 一布法治文々ハニニ一色ハ内ニナリ
 一和名多ニ本朝ニニ班慢

一紫裾胡上外色下紫
一紫裾濃上薄紫中中紫下濃紫
一紫裾紺上公サキ下一分シ
一紫裾紅下一分紅 九何毛耳胸目虱
一紫物具皆今サキ

弓弦ノ音ヲ浴池ノ聲音ト御念スルニ弓ノ本躰
無量壽佛ナル故也

血氣ノ勇力ニテハキカスニ仁勇ヲ以道理ヲ教ヘ
道可キ不取所ヲ怒ルニ

連上天通下土トハ聲ヲ弓放メ矢ノ心ニ
心ニ念ヒト思ヘハ其一念立百生ノ間無浮ヲ期

繫念トテ日々夜々ニ思フ執着ノ惡心無量罪ニ
出離セカトハ此生ヲ受テ居ル内ハ鳥ヲ籠ニ入

ルニタトウ故ニ執行シテ籠ノ中ヲ出テ離ルハ
ヲ出離ト云如是ノ念慮魔障執性生矣

死矣ヲモ鳴弦ノ法ヲ射放ハ弓ノ妙也仁徳ニハ
矢怪ハ不克ト云リ

衆罪如草露事日能消除トハ觀音賢經ノ
文句ニ衆罪ハ見テ聞テヨリ起ル殺生スルモ是

自性ニテハ三三忘念ニタトハ氷結テ氷トナルカ如ク
積テハ罪障トナル能悟ルハ罪障ハ如霜露消

滅スルト云義ニ
鳴呼ノ妙徳 鳴呼ハ弓ノ本躰ニ

序文終

本尊ノ受當流中ニ利支丸八幡大神右春日
三神ノ敬ヲ檀建ルニ本尊ヲ建崇敬又ルハ

我心ヲ誠ニスルニ
香ハ名香又抹香ニ花ハ古生草竜眼木ッ交立

燈明ハ油火ニ 供物ハ洗米又菜ニシテモ
弓檀上丸ニ立ル矢石ニ立ル暮日ハ根ヲ下鋒矢ハ根ヲ上

竜眼木
大寶珠
花樹ノ名

男ハ小袖ノハ左股差右置女ハ小袖鏡警皆身代ニ

垢離ノ事 我穢心ヲ清淨ニスル為ニ

甲子山鬼明王ハ天皇ノ本尊強キ神ニ

加良手水ノ哥ハ猶々我心ヲ清クスル心也

護身法ハ身ヲ固ル九字ノ印ハ心中ノ邪穢ヲ切拂ニ

但相傳セズ人ハ南無八幡大弁ト三返唱ニ

諏訪ノ文ハ大般若有文ニ業冬タルモノ射放シテ

佛果ヲ得ヨト云事ニ

迷故ノ文勸請ノ文ハ皆我心丈夫ニ正キ所ノ悟ニ

○甲子山鬼明王ヲ掌ニ勸請スル心ニ

弓ヲ喰多羅枝ト唱頂ヲハ月支ニ多羅枝ト申スニ

日輪月輪不ニノ寐ト觀念ノ一左眼日右眼月

日月ト我身不ニト思一ニ

弦音スル片ハ夫ハ腰ニ納ル

天ニ向片左膝立右膝ヲ定未苦有ル地ニ向片右ヲ立左ヲ定

末苦左ナリ

天ハ廣ノ哥 天地ト同寐ノ觀念ニ

千早振嵐吹ノ哥ノ心モ我心滯ナリ心也

是近ノ趣何ノ鳴弦ニモ回事ニ

但右ノ寐配熱ラハ我身ハ幡ノ觀念ニ仍テ南無

ト不謂ニ

○甲子詔 是西ノ邪氣ヲ責伏ル心ニ

北枕西向ト北方ノ陰ニ歸ル意仰ラ射北ノ心有

天ノ根ニテ各一鋒矢ハ腰ニ納墓目ニ

三日月ノ子ノ内ノ支 地ヲ三月月ニ張テ七月半月

三日月ハ十五日満月也

三蜜ノカケノ支 弥陀ノ三蜜ノカケト 觀念スル

墓目ヲ番テ弓ヲタケ退テ小袖ハ三度射付ル也

但小袖ハ胸ヲ向テ掛置

男七五三ハ陽廿三五六ハ陰也

九字ノ手ノ内ニテモ射ル支 惡魔ヲ切拂加持スルノ

意ナリクヤ貫ノ傳ハ四指右ヲスカシ心釘貫ノ故ト

觀念スル也

右墓目ノ射終テ四方詔ヲ射ル支

南東西北ト射ル此片伏弓ニテ未苦石ニテ矢尺程

墓目ヲ射出スニ

辰方ノ水ハ陽方也

黒札寸法長四寸幅一寸二分

小男小女ニ礼ヲ押スル古支ハ邪氣ナキヲ取也陰陽合寐

小袖小男女ニ持スルモ胸ヲ向スル此取矢ヲサシ外ス

寢覺ヲ裏返ス一 邪氣隠ルニ故ナリ

丑ノ辰前ニ拵離ヲ取丑辰ニ行燈ヲ消也弥心ノ治ニ意ニ

弓ハ五所藤裸形也 握今織ニ包弓ニ天地天門

ノ一ハ八八并此六童子日月曜宿各入支ニ葉ヲ各入

墓目柄蓬ノ字ヲ各入一弓矢ヲ鳥鬼ニ表スルニ

小具是七寸ヲ月弓矢尺不動愛添ノ法ニ兼テ加持ス

三足進退是ニ右足ヨリ先ニ鳴弦足踏ノ傳ナリ

内ハ文字ニ是強ノ強ヲ踏破ル意ナリ

表ノ字ヲ未苦ニ各上ノ点ニ所ハ本苦ヲ建大中通テ

打也ヨリクニ

- 儀ノ間ヨリ肝ノ斤顔ヲ中ヨリ出ス
- 詰々ハ墓ノ声ニ表ス
- 徒引ハ夫ヲサシハツス也
- 鞭ハ或墨心ノ怒ヲ移シ病人狂フ片打也因果明ク文ヲ唱テテ
- 本覺ノ文生死ノ道ヲ明メ佛牀ノ道理ノ知レ意ニ
- 空ニ成ハ心氣滿テ正キ心ニ
- 小女ノ後置ハ大後ノ射也 指掛ニ弓本返

中巻

人後

- 唐竹 男竹細葉長ニ和竹廿竹ニ陰陽和合理也
- 冥ノ名ヲ各本答ニカセ弦ヲ打ニ
- 四方ニ押札黒札也
- 芥子ヲ入レテ都テ邪氣ヲ射放ニ入レテ
- 弦音止ラヌヤウハヒリクト打ニ百刻丑刻卯刻四二三ニ
- 花檜ヲ立レテ夜三度行テ生冥ト同ニ
- 人形ヲ射レ時ハ敷置テ建ル裏ヲ表ニス北方ニ墓
- 目ニテ引詰射ルニ
- 三國指所ト云傳有天生震且日本氏ニ肩間ヲ見ルルニ無ニ念心ノ微スル意ニ
- 十字金輪ハ真言重秘法ニ
- 是北ヲ名乗出トハ何答ト云テ云事ニ
- 鳴弦ノ後ハ墓日役ヨリ重任タリ南ニ檀ヲ飾
- 黒札前ニ同シ
- 墓日役同刻三木ヲ女世ニ本陰陽ヲ惟有
- 片相佐テの置等ノ一別巻ニ委ニ
- 怪有片ハ四方詰ノ行ニ
- 棄テテ蓬矢ハ白昏ニ多矢ニ昏ニ
- 大ト昏テ大ト物ノ難ヲ避ルニ
- 誠正殿ハ熊野 宿園ノ相殿ヲ申スニ重ニ
- 貪嗔癡ノ三毒ヲ忘テ貪ハ貪心嗔ハ怒癡ハ愚癡ニ
- 邪正ニ此ハ如空義ニ邪正正一如空ノ心ニ
- 一度誓ハテテ走肝ヲモ退ニハ一矢ニ射殺ゾト
- 誓テ
- 教化因果トハ病人口走ル間テ道理アルハ飽テ導ヘニ
- ト云レ
- 因果ハ初テ成ヌヲ因ト云其因ヨリテ後ニ報イテ
- 受ルヲ果ト云也
- 清心ノ導師教化セカレハ不可離トハ鳴弦ノ行
- 者能クテテ道理ヲ辨ヘテ行フヘイトノ禁戒ニ

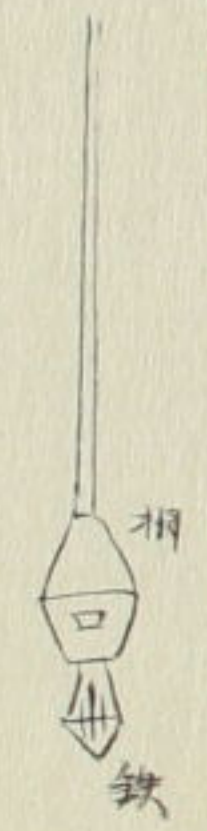
下巻

- 夫婦ノ小袖ハ陰陽和合ノ理ニ
- 東北西南ト鳴弦スルニ
- 草ノ内ヨリ門外ニ射出ス
- 七所薦七箭ノ矢七ノ數ハ天地ノ數ニ
- 十二歩ハ子ヨリニ云迄
- 半答テ天長地久家ト唇上ノ息ノ所ハ本答ヲ云
- 七五三ト鳥打肩ニテ弦打レ墓日置前ノ方ニ射付

ニツ羽ノ矢ハ神代天ノ羽々矢ニ表ス人代ヨリ前ニ
 夜ニ度ハ五七昼三度ハ卯午酉ノ真ニ
 天ニ向キ九ヲ立右ヲ空地向キ右ヲ立左ヲ空地天幕日殿
 東西南北ノ各ハ四方詰日南
 東幕日西鏡矢南引日北鏡矢
 南幕八幡一七返後打七
 勝者一五返後打五
 兼津一三返後打三
 何モ南ニ向テ打ヘシゴリクニ
 三替ハ幕旗武羅ニ
 敵將ノ歳ヲ知ハ年竹ノ活
 日ニ三度ハ卯午酉
 調伏ノ矢ハ木鋒矢也
 養人形ヲ北方ニ立テ杖置テ射テ後鳴後打スル
 打切ニ七日日ニ支引ノ方ニ人形ヲ出シ川へ流ス
 口ハ妾ニ行ヘハ弓矢ノ興加ニ尽ルニ
 午未ハ破軍ノ表相也
 鏡ハ双ヒハ文字也
 馬ノ左耳ニカケル
 弓ヲ左ヘ立鳥打通テ打切
 味方皆惡方ニ備ル時ニ惡方ヨリ射止テ相射
 ノ方ノ一ノ夕トハ敵東ニ備片ハ西ヨリ射ル金對木
 余唯之
 子午一 支引ノ方ニ
 弓ヲ朝ルハ馬ノ兩耳間ノ距ニスル

首ヲ持ヨクト引クニ
 午ハ陽 白木ヨリ後鋒矢
 丑ハ陰 漆弓白弦 輪矢
 切声ハエイロカケル
 山鳥ハ霧ヲ拂フ鳥ニ弓ヲ建テ招ノ目ヨリニル
 人ノ名ニ立歸レト各深本答ニシカセ七五ニヒリク
 本答北 後西ニ向クニ
 騎ラマ内何ケ度モ行 後打度足踏ヲ踏止之
 四国ニテ民族蛇大神ヲ病ニモ千人ニタリテ
 ナシツケルニ

△ 暮日白篋五節真羽ノ三子建 内向ニ射之 早矢ノ形ニ
 但鳴後等ニ用ハ暮日小具足トテ七寸ニ
 鑄矢ハ黒篋五節 走羽遣羽真羽小羽出鳥
 引尾 内向ニ
 △ 調伏 敵退治矢入達篋五節 内向
 走羽遣羽トビ小羽ヲタロシ 木鋒矢ニ



△ 暮日ハ狐狸生冥死冥属物ヲ射放之
 △ 箭ハ天ヲ飛カケル 魔障遠所ノ鬼ヲ射之

檀飾

何ノ鳴後モ同シ小袖ヲ小男女ニ持ルミ疊テ建タル
 前ニモタセルニ
 七星九箭ハ一寸ニ命ニ紙ニ書シシメ繩ニ杖ハ也

口訣

不得師傳ハ無利益不淨心ノ者行テ
益ナレ保垢離清メテ行ハ益アリ凡人
不淨心ナル故ニ心ヲ改メ為ニ精進スル
護身法九字ヲ修スルハ身口意ヲ清淨ニ
スル法ニ保傳授ナキ人モ清淨ニ叶フレハ
必妙有 不淨心ナレハ全ク行ハハ妙アリ
生矣死矣等モ仁ナルハハハ仁者ニ有
皆自己ヨリ作スルニ我心全ク正中ハ歎ナレ
ラフ取テ鳴弦スレハ一心改リ矢ヲ用片ハ心氣
満ル其所ハ何久怪入ラシヤ唯此所ヲ悟片ハ
我意全ク象モ又正キニ則神明佛位ノ
妙徳ナリ

極傳

纒汰ト云傳

元神衣ノ一件本書等ニ有之汰ト云大吏ハ戰場テ
負色成トキハ衣裳ノ九三成テ覺レ之右マエニ
スリ直ス吏之智仁勇ノ三ヲ兼備シ大將ナラシハ
不及吏之是ヲ母衣ヲ云ル將ト云秘タリ常道ヲ
学テ此心掛ヲナス吏第一之匹夫タリト云此徳ヲ
得ハ何ヲ大將ニ可劣ヤ能ク可心得定賢

武羅勢拳ト云傳

柳母衣吏ハ書々ニ頭見タリ勢ヲ拳ト云吏ハ
大將勇猛ニシテ心底勢ヲ拳ルルノ軍唯雄ニ可
有之大切ノ場合戰ニ勝ヤク有是ハ天神地祇軍

神拜レ己ヲ忘レ身ヲ捨テ再ニ飯城セ又覺悟シテ
下知ヲナストキハ鬼悉ク勢拳 極テ大利益得
秘ヲ忘身ヲ捨ト云ニ秘傳有定賢

母衣甚拳ト云傳

是ハ極秘ニシテ難知吏之故ニ胎ノ字ヲ書説有母衣ハ
胞衣表相ナリト云義ヲ取ト之本傳ノ甚拳ノ守ニ付テ
コソ難有事アリ甚拳上生ノ甚拳座ハ心ナリ此
甚拳ニ坐テハニクムキ者モナク可愛者モナク敵モナク
為モナシ能計死ヲ遂テ武士ノ本意ヲ達ス吏也
此本意ヲ達ト云ニ秘傳アリ 誠ニ生々世々無限密
傳也既ニ川中嶋ヲ典廩ノ母衣ヲ甚拳ニ奉給吏人
知テ不知吏ナリト傳可秘定賢

大星傳

赤子ノ如シト云事アリ利ノ大星業ノ大星ト云吏
古傳ノ趣也利ノ離業ヲ離傳アリ 天ニ大星有
地ニ大星有我ニ大星アリ 是ヲヨソツカエハ戰場ハ
勿論今日唯今ニ至ニテ自由石成ト云事ナシ將
名士各大星ヲ能ツカヒ得タリ可秘ニ定賢

鯁形傳

柳鯁形ノ真向ニ打古又ハ往古男子ハ農耕ヲ司
婦人ハ紡績ヲ司也此根元ヲ不忘恩ヲ報ニタメ
ハハ額ニ鬚ノ象ヲ肩ト号テ作男ハ鯁形ヲ
打タリ且龍頭ヲ用テハ明白ノ龍ノ徳ニ叶ヒ
玉ヲ驗ナリ故ニ卯ノ金ト云極秘傳ニ鯁形ハ
火形ナリト云鯁麟ナリト云自テ明ナレ故ニ光
有其光大夫ニ似リ今ノ鯁形ノ象ハ表ス

突ハ龍頭ノ形ハ高隱徳有ヤ口傳

着背長傳

世ニ名有ニ其物ヲ知人希也。是ハ大將ノ腹卷ノ上ニ着ス。龍也。大形ナル洞ニシテ。祖傳ハカリ有之上將ノ着用ニ。或ハ紫裾濃或ハ緋威限也。故ニ古書ニ。萌黄白ノ腹卷ニ紫裾濃ノ着背長ヲ着テナリ。有口傳大秘変也。定賢。

矢叫傳

夫箭叫ニ品々有矢ニ中テ鳴声ヲモ云。箭入ノ呼唱レ咒文ヲモ云。鳴聲ノ呼唱レ文ヲモ云。極秘ノ矢叫ハ我有敵ニ有我矢叫ト中物ノ矢叫ト一勝ニシテ心中ニ的中スルヲ知レ本傳ノ矢叫トナリ。假令ハ闇夜ニ矢ヲ放ラ物ニ中レハ拳ニ覺レカ。此ニ是身ヲ正シ心正フシテ天地ト我ト一麻ニ滿テ其中ヨリ自然ト放ツ矢ノ不中ト云フナシ。是矢ノ中ニアラス中ル物ノ中也。元ヨリ弓矢ハ無益ノ生命ヲ射ルモノニ非ス。惡魔ヲ降伏シ朝敵ヲ平天下ヲ治ルノ要具ナリ。矢叫ノ傳此所ニ有也。賢。

秘甲傳

ニ方白四方白八方白ノ咒ヲ世ニ大將甲ト云事ハ白ハ明白也。龍ノ徳ナリ。龍ノ強勇成レハ不及言則大將ノ徳是ニ合リト云意味深此咒ニ必篠岳有是ハ龍ノ尾ヲ表ス。上代ハ天宮ノ所ニ竜ヲ作り置レ。是ハ大秘変也。故ニ龍ヲヤマテ尾中作テ是無ト号ス。然レ源家ノ棟梁ハ今ニ龍頭ノ前立ヲ用玉フテ可察。猶口傳且今上ケ玉ト云名ハ人知テ上玉ヲ不知是ハ龍ヲ止テ宝珠ヲ作捨ニシテ置リ。又是ヲ秘ス。當世玉ノ有梵ハ希也。口傳定賢。

脇楯傳

神宮后皇ノ御鑑カコニ不合故ニ竹内宿禰楯ノ板ヲコホチテ服ニ當リト云。夏皆人知レ也。是ヲ秘レトハ何故ソト云事ヲ人不知大秘傳アリ。御鑑ノ發手ニ牧ヲ腹當破テ楯板ヲエホチテ當タリ。御胎内ニ。応神天皇在ス。大切ノ事ナリ。後世傳授モノニスレトハ都テ人ハ腹ヨリ勝レタルモノナシ。其勝タルモノヲ終困ニ也。大將ノ腹内ヨリ勝負モ善惡邪正モ出ルナリ。腹ヲ大切ニス。夏ノ智仁勇ノ道ニ叶事也。口傳可秘也。賢。

付リ死罪ニ腹ヲ切ト首ヲ斬ノニ云アリ

武士ノ罪有片ハ切腹ス。輕率ノ科ニ之レハ討首ニス。昔ヨリ何ヲ以如此極置タリヤ。秘傳アリ。

夫士ハ腹内ヨリ思慮出也。其出慮非道

ナシハ出レ所ノ腹ヲ割ス。輕率ハ胸ヨリ上頭ニ思慮アリ。其出レ慮非道ナシハ其出レ所ノ首ノ割ス。然所ニ武士ニ似合。輕率同意ノ罪有之レハ。斬首ニス。是士タル者ノ腹ヲ大古又ニスルノ證也。

色圖のノ一射手ノ数ホ下依格ヲ極其先ニ二三射ヲ人教ホト
 書ハ三角ニ分テ包圍先ヲ出シテ右前ニテ一本ヲ取ラスニ
 心合クハ十五射極極ハ之ニ至一人ニテ十本ト云本
 中ニテノ数ホ下律ヲサレ五ノ申取人十本アタレ五十中
 切手射所ノ中ノ数律ノ數ヲ合多キ人ヲ呼出シ一手
 イヤセ一手若シ中レハ此人ハ勝ツケル片矢ヲ黒サレハ引矢
 十二ノ黒代石中ハ此中ノ數引テモ次ノ射手ヨリ多クハ
 勝少ケレト次ノ射手ヲ呼出ス引矢ノツモリ前ノコレ中リノ
 矢數ハ不及射手ハ二三ト引ナリ
 雜形圖ノ十人ノ盛矣代テ五組ナリ是ハ上矢下矢ヲ知
 ナリト切命ヲ三テ四方ニ切ナ數ニねニねニテニ切
 極スリフタニセラクハ此此射ヲ上矢五人出ニ手射中リ
 有ハ逆切スハ逆切下矢五人射ハ切東矢ノ人ニクニトラセ
 其後切矢中ニモトラセ夫ノ人ト合ク勝末矢ヲモカレハ
 先矢三人トラス若此三人合クハ勝サナクハ次トラセ
 合圍ノ申リ多キカ勝

軍制卷口叙

- 一本書鐘通子九寸五分ヨリ七寸五分迄有
- 傳七寸五分ヨリ四寸五分ニテテ古丈九寸五分採ハ長シ
- 一陳カノ下格柄ノ方ハ進マシニ結ナリ
- 傳古來ヨリ書誤也鞘方ハ進マシニ結ナリ
- 一打カノ下格柄ノ方ハ進マシニ結ナリ
- 傳古來ヨリ書誤也柄方ハ進マシニ結ナリ
- 一陳カノ下格柄ノ方ハ進マシニ結ナリ
- 傳古來ヨリ書誤也柄方ハ進マシニ結ナリ
- 一脇先陣器利用
- 傳下格柄ノ長クス事山中ニテ做目十ト幕ノ十有也其件長キ方ヲ切
 身ニテハ思慮ヲ持ト云秘傳又兩脚地通眼ニ切片長短ナリ長キ方ノ下
 格ノ切ワカラス也必短キ方格ヲナス中傳多クハ傳切ナラセ其難
 ノアルトナリ

一幕ノ事

- 天子 四丈八尺
- 將軍 四丈三尺
- 諸侯 三丈六尺
- 大夫 三丈
- 士 二丈四尺

幕ハ地六數 手繩ハ天九數 手繩ナリ

良

一也皆極其能一毛皆三寸十寸皆
五寸有

一 根繩目ノ一実ハクシモトモト交々モノナリ
斗ハ坂本ヲトシナリ

一 小田守の信長ノ仇依テ 村金物ニクワラモチニ敵田

一 小幡藏ノ本書ニ金札白多ク有一名白一之仁ヲモラ

一 源ノ上白下仁平ハ下白上仁ヤリ

一 小嶋ハ桓武帝而後一山脚在テ東天ヲ拜玉フハ八咫鳥

一 刀ヲクワレ来ヒアリ又云國作ニ鳥鉄折ルハ片マ

一 五度ノノ葉此卷勝定改義持將軍ノ片備前ノ

一 持長ニ射場始ノ古実ツ所タツ子ノ片書上ニ書ナリ

一 東鑑ニ五度ヲトアル此ナリ一人ニテ五度ニ井ル

一 射ノユト三ノ有南ノ不射四有聖ノ出テ射ラ

一 射ルニク中絶ス後等持改ノ片公武云再興

一 大内ノ射場始ニ三ノ片ナリ五度ノ片モカノ前年十月ニ

一 試有他年始ニ二十八日

一 賄賂ハ仁ノ射初

一 武家射初ノ印ノ文修多(口)ノ片(口)ニ西の始アリ

一 装束式直垂ニ立烏帽子文治ノ片(口)書

一 皆持ヤリ鼻上ニ京向ニ被ニタリ

一 矢无切符ノ時ノ將軍ノ印矢ニ五リニ

一 新在井小ヤノ一ノ辰明アリ

一 内松原ノ下ニシクヤフヤフ他何カ

一 抄原ノリ野邊ニヤリ射手ノ左ノヨリ在モツキ左野邊

一 タテワタス

一 周半月ホノロイニホニ

一 射ヲハリ退月十ノ射手ハたナリニ退ノ外ニ若

一 三ノリニカヘ

一 一人ヲ射ルニ一曰ニ中ニテ井ル初ニ名物甲矢自ヲ井

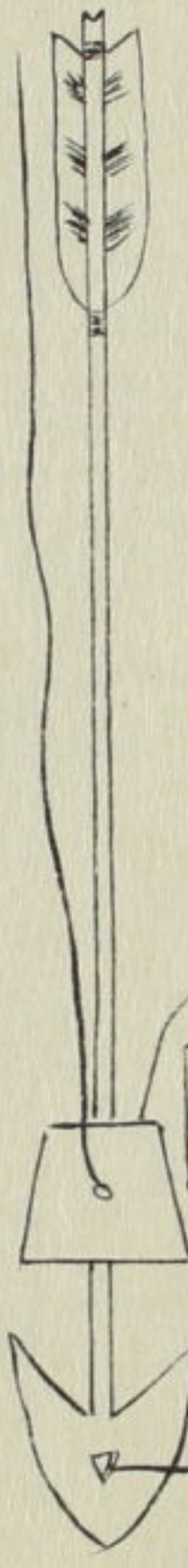
一 一人ヲ甲矢ヲ井又名物ニテ一人ニテ一人ニテ射ル

一 是有る多ク傷人ハ多ク又一人ニテ出タレ片ノ下

一 華ニテ前セキ後日ノ序ニタレ射タニ居ル鏡倉

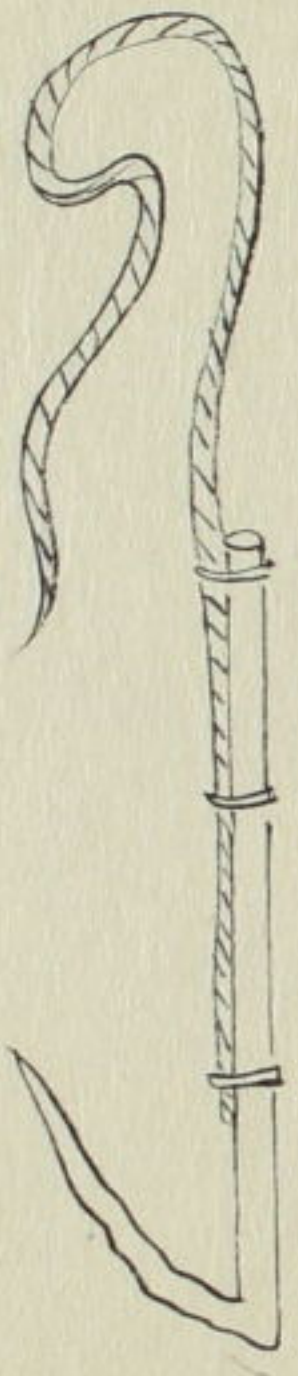
一 一三五三四後ヨリ井ルトアレモ後ハシカ

天狗橋ノ大支
實ニトメヲク
置行ハシヲ
右ノ

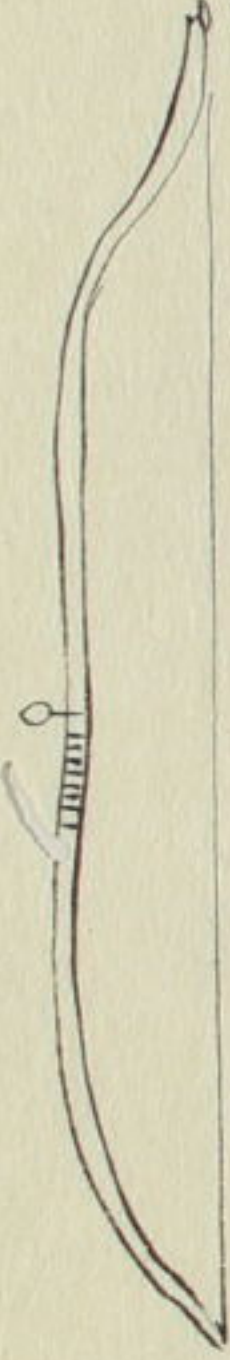


ホヲ射込
支ハ成ル
木アリ
天狗橋ノ大支
實ニトメヲク
置行ハシヲ
右ノ

右ノ矢ノ先ノ穴ニ細キ糸ヲ通シ本ヲ目當テニ射ヘシ
中リテ根留リタルハ彼ノ糸ノ先ヘカキノ付タル細引
ヲ付厄々ノ端ニテ以テヤレシ其時向ノ岩ニテモ又
林ニテカキヲカケ備右ノ細引ニ所付先又渡ルヘシソノ
片外ノ細引百モ百モテキ向ニテ木ノ根十ト一結付
ソノ細引ヲタヨリニシテ不強ノ勢兵ツタルヘシ



右ノコトクホニテ格置キ随分丈夫ニシテ細引
ヲ圖ノコトク三所四所結付シト細引ヲ留置
備右ノ矢木十トニ中リタル片矢ニツケ有細キ
糸ノ端ニツケ彼細糸ニテクリヤレナリ心當座ニ
本ノ枝十トニテモ格何レニモ人ノクヨリトスル木ニ
丈夫十九カヨシむ此弓ノハ握ノ上ニクワニカヒヤウツケ
夫へ細糸ノ尾端ヲ留ナリ



又如是折針ヲツケヲク支
ニアリ

鑑三トク血ニ深ヨリシニハ洗タモフ依用

一 軍扇一巻権輿ノ二字ハ大全ニ華谷ノ巖氏曰造衛自權

始造車自輿始ト云物ノ初ラ云

扇ノ始事物記原ニ崔劭ヲ古今注曰舜弘ク視聽ヲ聞賢人ヲ求

自ヲ輔ケ立明扇ヲ造リ玉ヲ五帝ニ表骨柔有又陸機カ扇ノ

賦曰昔武王玄覽扇ヲ前ニ造然ハ今涼キヲ招ク類ノ扇武王造

揚雄カ言曰閑ノ東ハ是ヲ簾ト云セキノ西ハ是ヲ扇ト云武王ハ

造扇ヲ造舜帝造リ九ヲ扇ハ日本ノ扇ニ似タリト

今未廣ク扇扇ト云軍扇ハ三ツニ退治ノ片武内臣作レ

音敷大將十三十二諸侯十出八

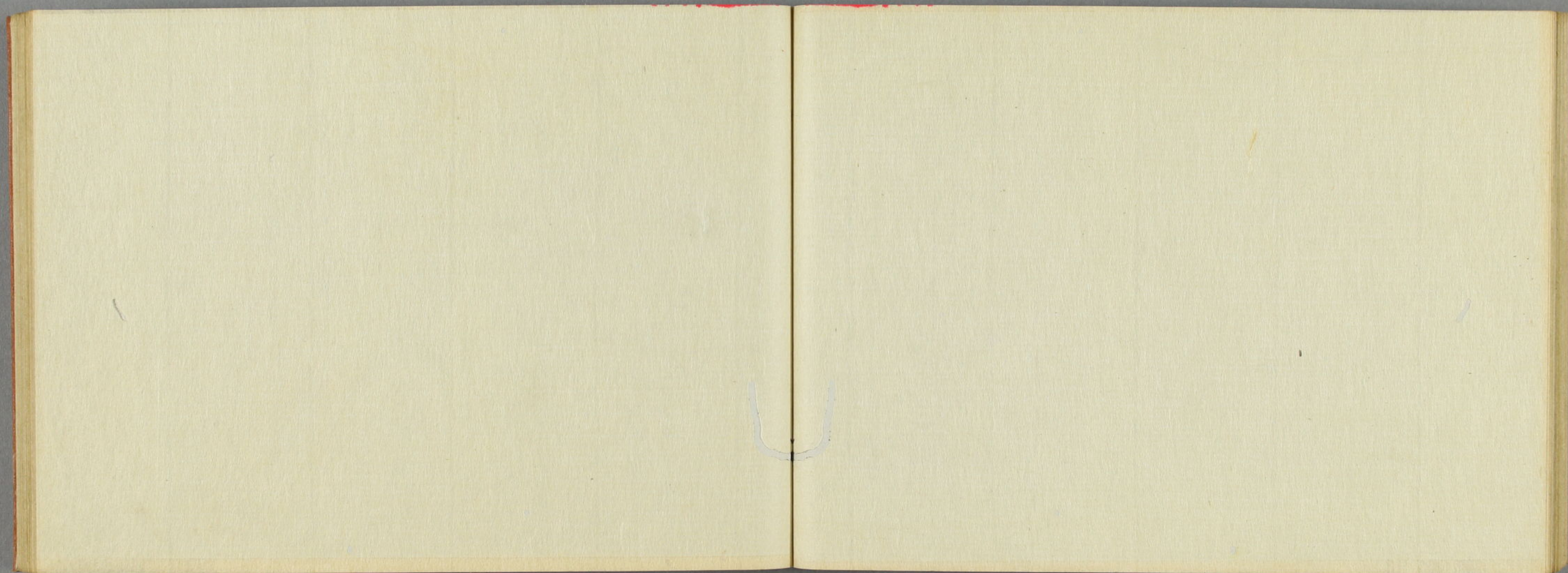
一 棧錢持米
二 者紐朴柏八階縁木
三 再拜 唐ノ旗ナリモヲ以作シ施モハタニ拾物論 屋ノ之數鹿ノ司
尾ヲ振テ諸鹿ヲシカラ是ニ四目モヲ以テ作本朝神武天皇ヨリ
采解金銀朱ナト色ハリタルヲ云
一 説神宮ノ片軍扇ニ白帛クタリタルヲ表ス
一 漢大太子守屋ヲタイ治ノ片四天王ヲ刻ミラニ入格ヨリ
一 成中上九中八七下八五五五

一騎射装束

一番 正ホシ ニスホフ 三小袴 袴ヲ入 四鞆 五 ニホフノ紐ヲ下
腰ニテ紐ハ両方
 六小手 七行騰 九ヨリ履外へ押折置右皮ヲ履 緒片
ワナニ結ニツニ紐行騰折目ノ下ヨリカフニハ肌腕カスワフノ
 袖ヲ折テ後へ廻シ行騰ノ緒ノ下ヨリ上へ通カへ捻テ入
マトヒヤフヘシ神ノ下リタルハ悪シ 九小手指片ハ左右ノ手ヲ
 前ニ組テクツツリト有マシニ

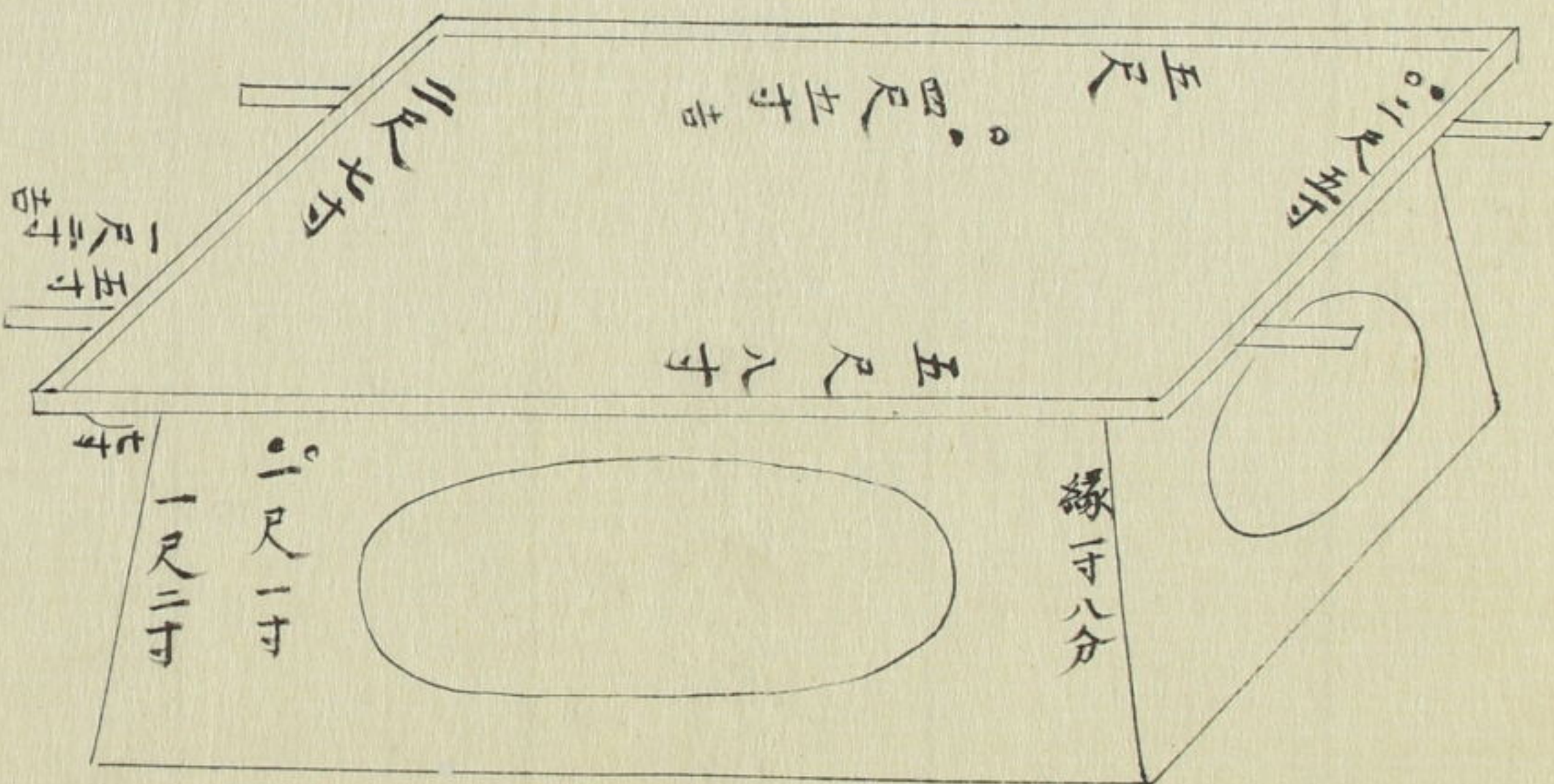
弓級考 揮今ナリ 尊宿山邑 給フトハ 訪誦ノ下
主トアルハスロ明神ノナリ 古又アリ 五肘トハ肘ヨリ指ノ
先ニテ一尺五寸定ナリ 五肘ニテ七尺五寸ナリ 今ノ弓ハ
大カタ七尺ト成レリ 式ニ七尺五寸ニ
一今ノ弓ハ人徳ニ来カマホフナリ
一天竺ハ月至國月ニカタドリシニタニハ
日本ハ日ニカタドルナリ

一水吞ノ金物ヲ一水吞利ナシ或不見ノ三ナリ故ハ袖ノ後ニ
アリ依敵ニ不見ノ金物ナリ
三ツ的不詳の五寸上リ二寸三寸上リ本書ノ通
・五寸ハ五度モ十度モ一説ハ小的ヲ金ニメ一寸八分ノ黒星中銀
黒星中一寸ノワラキ白寸八分大ニ中ノ白一寸分余ヲウス
黒星中又リコキ黒星中一寸ノワラキ一寸八分大ニ中ノ白一寸分余ヲウス
振ミノ四寸相ノ小口切厚守五分上ラ帛ニ有又小朱中ノ白大黒
又網代的ニ矢ハ神頭四目矢代ニ本ツル再拜アリ一寸八分ノ星ヲ出
上ハカラハニ度フルン中リハ送羽一本中リノ如ク上ハアラメハツチノ束夫ノ
如ク送羽ヲウツ又一手ヒカラミタテハ根ヲ後ニテ横夫ニ打穿中
一本アラハ一本中リ節カニのツリヤフ射ニ遠キホド上ケテワル
一尺五寸上ツル・モツニ方鈎ヲ射カラニ三方振ニ三方三三九氏云



管子餅臺

六角臺
 差渡 七寸
 厚 一寸下
 柱長 一尺五分
 太 六寸四方
 後 明一寸
 横木
 長 七寸 申八分
 厚 三寸半



一四名華威ノ下白皮ヲ黄ニシメ竹ニ卷立信子テハコニテ
 留置故四ノ名アリ依テ名トス又武州大田守モ河出皮ヲ

モ云依右ノ所ヲ今品川ト云ニヤ品皮ト云色ト皮ヲ威ツミ

一 出陣ノ時者ヲ打テ勝ト取附陳ノ兵打勝悦ト取ナリ

一 出陣ノ卷ノ末茸ヲ不用ト云ハ茸ヲ取時茸ヲ見テ

城ヲ見付タル云取名アトラ城カ落タト云依ナリ

一 實檢ノ卷字註ニ檢ハ正ナリ 依上中下ノ首ヲ見正ニ

一 石ノセツ弓矢ツカヒ居ル右ニ丑ノ年ノ仁黒重藤ノラニ

矢ツカヒ居ルニ午ノ年ノ仁白重藤ニ矢ツカヒ居ル

名ヲ棚ト云首ノ入ル片矢ヲ射カケル人此役ナリ

一 實檢ノ間ヲ徑營ノ間ト云又名代ヲ見ル陰見ト云又

貴人馬ノ上ニ被見ヲ配見ト云實檢名目ニタニナリ大将

首ヲ見ラ對面中檢知下配見

一 執吏ノ頼朝ノ片ニテ頼朝ノ片執檢後改メ京都將軍ノ片

ヨリ臣領信長以來大老

一 神前的是ハ當病祈禱ノ片行フ

一 上西ノ新田大炊ノ助義重入道ナリ

一 實檢ノ卷小貝足ト云天衣地衣ニ唯輪ナリ秘ナリ

一 城取論周炎帝人代金元ト云黃帝ト天下ヲ争フ

一 日本ノ城ノ始ハ神武天皇征伐ノ片大和ノ國カハラニ宮ヲ定メモフコト

一 宮部始ナリ城ハ日本紀神武天皇征伐ノ片大和ノ國カハラニ宮ヲ定メモフコト

一 大和國ノ十郡ニキツキタラ是始

一 地奈ハ水火ノ金土ノ五性ヲ祭伊弉册ノ産玉ヲ御子ヲ

一 木神ヲウケウケト云火神ヲ軒遇突智土神垣山姫金ヲ金山彦

一 水ヲ用象ト云余ト云

一 三法ノリリヤヲ東卯ヨリクシ惡シ宜ヨリクルヘニ南ニ酉中北ニ

東司
 西淨
 同外
 香徳

一 棟木ノ屋ノ社ニ打天守ノ棟ニキナ
 一 城ノ明ル片東北ヨリ勝木ヲ打城主ノタケニ切門ニ向昆沙門ノ
 一 枕字ヲ書テ五方ニ天北左右中
 一 門垣ニ四更紀ニ素盞身脚摩乳并府ヲ記ラテ垣ヲ造リ也ニ其垣ニ
 一 八河ヲ造立ト有

多門ト云松永殿正久季三東和州志貴ノ昆沙門堂ノ上ニ多門ノ城ヲツキ
長屋ヲ建テテヨリ法ヲヤリ
濟三子三未寅酉辰亥午申卯戌報寅巳申亥卯午辰未戌丑
没日節カワリヨリ 正七日ノ二十四日一八十六廿四九十八七十七七十三
○出軍上

・南天ノ湯ヲ掛リ東方ヘ向礼洋ノ片南無護國吳旗威力神通自在
・甲冑ヲ着シ文見者甲冑當願衆生誓服法體得無帥法
・大将此ノ片雉子ヲ首ヲ切テ三行ニ據テロストリ首
・神前ノ本書武運長久ノ行ハ是ニ奉射百子有ニ此射礼ノ病変ニ行フ
・的ナリ依在色ノ玉藏形ナリ 撲見大前共見カク一疾ニ病人ノヤワリ
・イテ腰束神主ノ布衣ニサシマキニクシテ取定ニ異式ノ衣ニ逆モ皮ニ入
・射手ノ前後ヲ定メ夫代不及ニノクシテ取定ニ異式ノ衣ニ逆モ皮ニ入
・射手ノ前後ヲ定メ夫代不及ニノクシテ取定ニ異式ノ衣ニ逆モ皮ニ入
・前後夫氏ニ甲矢ニ叙居ニシ矢ノマツクハニ并ナリ 兩人凡甲矢三度ニ矢
・三度兩人夫負十三本イリ
・村既ノ撲見ヲ下社ニ前後ヲ定メ此奉シ神前ニ載テ左核石ヲ不務シテ
・イタク又左列トハ上ハ右ヘイジ不務シテ
・射手ノヤマシヤウ一取ヲツ射キ合クルリト引廻シ又後ニテ合ス是射入ス
・相徳木凡本神ノ方・カツ塚木ヨリ一尺ニ寸冠キ出入ナクニ
・三百一尺ニ寸冠キ出入ナクニ
・三白一尺ニ寸冠キ出入ナクニ
・杉リヤノ肝心脚肺シ・内尺六寸四分

一日綴 金札ニ紅糸下一ダシテ萌黄ニテ威タルヲ云
是ハ東方ノ葉ノ梢ニ朝日カニルヲ見テ初ラ此威出来ル
ヨミ下ニシテ梢ノ色ト見ヘシ

- 一緋威 金札ニ紅糸 一火威 朱札ニ紅糸
- 一黒火威 黒札ニ紅糸 一干魚威 銀札ニ淺黄糸
- 一具豆ニ何レモ耳系胸目ハ虱系ヲ用ルカ本式也若又
- 一虱系ナリ皆紅糸ニテ威タル皆クレナト云
- 一ヒ子リ出ラ吹送ト云昔舟軍ノ片難風吹来ル片ヒ子リ出ニ
鹿嶋ノ神着テ入タリシ片風替リ利運アリ依テ改
- 一冷首見ヤウ是ハ何者モ不知切捨アル首ヒ白甲ナシ着セ
持来ルナリソノ片切口ノハセハ冷首ニテラス切口ノハセハ冷
首ナリ

一直垂 錦ハ征夷大将軍リ余唐儀ニ錦ハ押出所ハ直垂ト云
袖ノウエヲ三針サシニシタラテ平クノリノ直垂ト云 上真景云
生絹トハ平筋ノ一是相ニ重ナリ

一 同白ノ一上ラスク下コキヲ云何色ニモ白ト云ハキツキタル
言葉ナリ

一 三三エホニスイノヤナルモ可ナリ
百手 錦倉流是ヲニ五度ハ春ナリ 弓太郎ハイキノ内ノ古堂ノ仁ナリ
式ノ座出シ方大後ノ幕ノ口ヨリ 一番日記ツケニ座環三ヨク今四矢代持
取リテ向ハシノ 神号ヲ唱へ拜礼終リ日記付ノ前(行片矢代持
矢代持方此持ヨルヲ 請取物日記ツケサセ 矢代持五ニアツテ取テ矢代持持テ
第ノ内ノ入本郎ハ表取テ七日記付ノ上ノ方ニ坐シ矢代持持入テ矢代持煩ヲ
射テ三通ス射テ火ニ式ノ座ノ出シ方大前ト大後トヨリ出合着ナス
精進アケクイラハリ 神酒ヲイタキノ酒アリ打アラヒ
日記付一人ヲキキ本書通り古ノ一人ニテ 百手ノ片ハ九ヲ各下ニ百ツケニ
上ラニ又祈ルル片ハナツニ中リカツツケル 春矢代持表名 裏実名ヲ各
布カ訓山形アツキナリ上代五郎今六

一 籠ノ卷ニ攝洋家ト有ハ伊勢ノ家ナリ
一切腹ノ卷 白縁ハ白麻ナリ 墨モ四隅ヲ切放シテ切ト
否直キニ押クルム・死衣ノ四天トハ四隅ノ四角ナリモノ
一 同切庭 東發心 南修行 西菩提 北漫禁門ト云

- 一射初 射ルヨリモハツサリケリ梅弓是佳吉ノ神ノカアラズ
- 一干魚 伊勢武者ハ皆大ヲドシノ鐘キテ瀨々細代ニカリユリスレ
- 一肴組 敵ノ首カニ任マテ打乾ワレ勝栗トミカタヨロコフ
- 一改鋪 春ハ花復南天ニ秋ハ稻冬笹ノ葉ニツユト消ケリ
- 一花結 三ツラ甲カラ持カタノ眉子カキ鼻ヒルタニ悦ノ増
右ノ呪長息万命急々如律令
- 一子トモノヒメヒニ 紅粉ナトニテ犬ト云字ヲ書片
ニトリ子ノ額ノ髪ヲカキ分テ弓ハツノ跡犬ト云字
- 一機結 賊ガ屋ノイト機ヲリノ機結心マスコモ亦解ルカナ
- 一総角 上巻ニフカキ契リヲ結コメサレノ石ノコケノムスニテ
- 一ア公 淡路カト通フ十鳥ノ啼声ハ君カニ代ヲハ代トノ啼

鉞列 領江 搖目 箱 縹 根直 辨 簪 茶匙
 乳 水札 扇 著 漂 冷 儲 細石 瓊 瓊 榭 連 項
 諸白 往時 浮線 綾 賤 諳 愛 筋 先 登
 文 宇 返 絃 刺 取 囊 者 母 衣 下 分 捕 毛 白 下 响
 大國王 更代 王建 御名 方 息 長 足 推 天 王 神 后 印 后 一
 鑄 雜 導 絳 襲 袍 絳 瞳 絨 錫 簪
 群規 矩
 室壁 壘 婁 曹 昂 畢 背 參 井 鬼 柳 星 張 翼 軫 角 允 戌
 房 心 尾 箕 斗 牛 女 虛 危

弓禮傳後条々

一重藤之豆 黒塗ニ白藤敷ノ差別ナク握下
秘豆ノ藤アルヲ云

廿一 張弓ノ豆 四足弓

上元六下元七ノ藤ヲ卷内赤外黒クシテ用ヲ云何
ホト藤ヲ卷内 秘豆ノ藤ナキニ一重藤ニテ
ナシ若地天ノ藤ニ秘豆ノ藤有片ハ饅多羅重
藤ト云 四足弓 黒塗ニシテ地天ノ藤ヲコク然レ
秘豆ノ藤ナキニ一魂ナシ四足同前ノ意

一世平弓之豆 一張弓ヲ藤内黒ク塗込タルヲ
云泰内ノ片 袋ニ入用テ有依テ世平ノ名有
一四目八目鑄之豆 付 鑄目ノ一ノ本式八目ナリ
是八方ノ電ヲ表一手四目モ八目ナリ 一鑄目ハ
目ニラアルヲ云鑄ハ諸虫ニ秀テ、自然ノ妙アリ
依テ啼音ニ惡魔モ畏ル、古又アリ 然ルニ一
用八目モ四目鑄ニ皆神頭ナリ

一箕代ト云豆 箕代ハ矢根又ケル片三四分モ
カタクスルヲ云心ハ敵ヲ射テ仰レテ見ル片
矢ノ筈ニ血ヲ残サン爲ナリ 惣シテ矢ノ根
ニルキ片ツメルニハ 帝惡シワラミゴヨシ
一饅目鑄ヌタメ答ノ一

又々目鑄ト云ハ鹿ノ角ニテシタル鑄ナリ 遠夫ノ鑄ニ
用ユ昔神代ニ天ノ香久山ノ鹿ノ角ヲ拔矢尾ヲ造ル
ト有肩トハ角ノ豆ナリ 後世於テクテ柴ニテ作ヌク
答モ同豆答ニ今世シヤヲ付ルモ角ノ表
一白ヤナク七ノ豆

一軍貝依音勝原空交

天(響)ハ凶地ハ吉何ニテモセシ是ヲキリニ兩手ヲ振筒ニ

春夏左秋冬右耳ニアテ

ニキリカ

一曰音声甲乙吹ヤウノ

是雷者ノワカ吹ヤウ志ス方見ノハヲ向ケル

一金鼓貝之カ知

金コハ手ノワカテ山ナト階不通貝ハ息ヲ吹ユ(ヨク
通息ハ天比テアリテ氣ト云人ニアリテ息ト云天然ノ妙ヲ
息ノワカハ速音アリ依貝ヲトス再軍ニ入用

一軍鼓依鳴音知唯雄交

ヨクナシ吉名鳴云天ヒク勝比ニテ

一太鞞ト云云 巴大交

大将ノ物云ヲサス 巴ノ丁年中日ノ出処ニ処ナリ冬至ノ
天ハ白日靈貴時正天照太神是至天照大日靈尊是ニツ
左巴子ヨリ巴近陽六午ヨリ亥近陰六右

一軍三鳥三魔ノ

鵝雉鷄ナリ 鵝ハセキレイ伊勢來吉 鷄タカハ信來吉

雞鳥クマノ善アリ 三魔 天狐北狐檀多羅夫狐ハ

天狗北狐ハ狐ハタラハケヒセイ梵語ナリ

一陣中ニ并用ヤ

大将ヒソカニ巡見ノ片居間ニ残ス六以肩腰股足ノ
各所アルユヘナリ又頭ヲ見セル片ニ首ト大将ノ間タニ
竿ノ形ヲ首ヘ向立ナリ法師首札付片竿ニテ
耳タフヲワラヌク

一軍陣躑ノ緒留マフノ

左右陣躑ノ緒留マフノ大ノ方ニ三卷ニキテ 緒付ノ処ニ下ヨリ

上ニ通ニ結ニテ其糸ヲ四卷目ヲ手甲ニテ上ヨリ下へ

引通片ワナニメ捲リ上ヨリ下へ押込ナリ

一戰場手繩留樣ノ

手繩先体ハ引トキニスル宿ハワナヘ引又キ置陽ハ
陽ニスル陰ハイニスル陽トハ手繩ヲ折釘ニ掛申へ
ニ卷ニキテ上ヨリ下へ片ワナニ引通ニ其糸ヨリニキテナリ
カクナリクナリ留ラ一巻テ上ヨリ下へ片ワナニスルニ
陰ハ左右折釘ハサケ下ヨリ上へ片ワナニ引又キ
四六クナリ留輪ヲニツ出シ何モ形ニアリ

一帷幄之交

帷幄ヲ田ヲ云幄ハ三張ヲ云是則家居ニ比ス又
頭ニ着スモノヲ帷ト云衣服帷ナリ此内ハ胸中ヲサ
一敗軍幕納ヤウノ

芝シキヲフミヤフル是モ不叶ハ天門ノ紋ヲ

ヤフル是ステ幕

一曰旗納ヤウ

是モ曰前上ノ紋ヲマフル

一旗色ノ交

大将ノ旗色ヲ云赤吉青要

一穴探七頭 冷首入子

天眼地眼弘眼右左 帷遺恨ナリ 天伴ハ吉

北左ハ惡右ハ吉 帷遺恨ハ大凶冷首ハ切口セス云ハ

名香ヲタタキ見ル

一具足早著ノ

左小半ハ靴ヲツケ右ハ後半ヲツケ楯ノ上ニツキ
引合ヲアケ左小半ヲ引通シ胴ヲ著左ヲ乞

前ノ發手尾ヲトキミタセ左ノ綿上ノ袴ヲ掛次左膝
ノ突右ニサテテ發手尾ヲ持テ綿上ノ袴ヲ掛右膝ヲ
小キノ中へ入小キ先ノ緒ヲメ高ニホクリニテ又二ツニ
左右ノ小キヲ付ラキワタエラツリテ着ル又二ツノ傳
左右ノ袴ヲ付ワタ上ノ袴ハ不掛前ヲ我立ニテ左ニテ
左ワタ上右ニテ右ヲ取常ニ羽ヲリナト着ルヤウニ引カ
ツキアトハ最初ノトヨリシ

一甲之緒留ヤウノ一
矢慶用 三保ヤ 信玄



一表帶ノ一
ヲヒテ長短トリ右腰テニスニ後へ廻前へ廻シワニ
カケ長キ方後へ廻シ前へトリ 西ヲ一ツニ平結ノ左ハ上
ヨリ右ハ下ヨリハセシ

一腰當ノ一
三四尺ノ布ヲ引シキ先ニ穴ヲ明月ノ小尻ヲ入
カラムロイ

一鎧直垂之支 付化粧袴之
是ラ早躰卷ト云平生我頭ノ大サニツラへ結ラキ急用ニ
モチニ形ニマリ

一鑓通刺ヤウノ一 右ニ指テ法依馬手箱ト云
三股アリサアサマ 順 柄後 是ナリ此内柄後吉
一首付ノ鑓亦様ノ一
是ハ右腰ノ鞆付ノ板ヨリ上ノ板ニカ子ヲ打 馬上
歩卒 凡ニ吉

一破軍ト云支
南方ノ千ナリ 離中斷ヨリ 万物ヤフルナリ
北方ハ坎中津ニテ 万物生依南へ向ハ慈ニ軍器ニ千ノ
歳ヲ用ルニ此意ナルニナリ

一破軍尾返ノ一
調前半後ト云ムク
一見切軍ニテ死遂
是ハ心傳ノ一ナリ

馬法禮ノ目

一乾革策ノ一
藤ニテ毛熊柳ニモサビ革ヲ掛ルラ云セ革ヲ掛ルラ

秘ノ上畧シテ乾革策ト云ナリ

一四寸策遠ヤウノ一

忍ノ内ハ口ノ内へ入込馬ハ尻ヲサシ立馬ハ首ヲ指
惣シテ奇方ヲツク

一方使ノ策ト云

長カ五尺梅ノ木ヲ採天下政道ニ用エト古人ノ訓ニ
アリ不折策ナリ

天吏一折策不折策ノ一

六尺時折策七本策ノ内口六本ナリ四寸ハ不折策ノ川越ホニ
三寸時頸下ノ馬ヲ引テ以テ颯ノ下ヲツキ上ニ是モ不折策ニ
五尺ノ三銘策ハ馬鞍ナドヲカセ又ハ腹帯ノ結目ヲ取テ

引是ニテハラケル獨結ニ下腹ノカ革ハ水付ヲトリ
二人ニテ左右ヨリ前取ヲケル是ナト皆不折策ナリ

一策ト云極秘ノ一

此ハ千方便ノムキヨリ出形ハナシ喜念ニ言心得ナリ

一策長短短ハ切ト云

一尺横手ニモ六寸横手ニテモ其人ノ器量ニヨリ長短
丈尺モ月レ

一山家ノ策ノ一

不折策ナリ喰付不放手策ニテモ扇ニモ唯カ耳へ
入ルナリ

一扣谷ノ手組ニ色ノ一

如是前ワノ山形ノ下ヨリ
ニキ結手カケ先ヲ掛
結ヲキカケ掛ル
先ヲニツヒ右ヨリ腰ヲ廻左ニテ一節ハ引カケ

一白雲手組ノ一

地リント云ハ革ニクワニテニツツケ右革ノ兩
ハシへ空ヲ明瞭ニツク其鏝へ手組ヲ留ル

一忍鞭ノ一

肌帯ノ三ツ居へ三尺手組ヲ付行膳ノ下ヲ後ヨリ前へ
版ヲツラヘカ革ニセルナリ外不見ユへ忍ナリ

一鏝着自前後兼云

常ノコトクスレハ落ナリ前ヨリ兼片ハ首ニソヒテ
鏝ヲ捻策ナリ古先ヲ前へヒテ後ヨリハ鏝ノ

中へ尻界ノ下リヲ入兼ナリ馬方ニテ六方兼ト云
前左右後左右鞭左右ナリ

一細道ニテ馬ヨリ下ル云

鏝ヲ捻ミワシ平首ノ所へ下ルニ
一土伏之入江ノ舟違ノ一

向モ右鏝ヲ馬ノ首へ踏上此方モ右ヲ上ル不當ヤウニ
スヘシ

一笠繫四ツカ一ツト云名目古又

一ツモカヒラ耳ヲコシ首ヘカケルニ鵬カヒノ余リトタケ
キノノフサト結合鏝ヲカケル三手組ヲ胸カヒニ引トラシ
前足ノ間ヨリトリテ右ノ塩キへ留四小松原草トトヘ
手組ニテニカトユヒツケル此四ツノ一ト云

一雲張之云

等一ツワルニ本ハツツクナリ帯へツケハルニ尻カヒノ
下リへ本ハツツク立ハル三本ツツク土へツケ杖ニツク
ハル

一馬上ニテ鏝長カ細ヤフノ事
帶ニテモワリテ留左腰へ留又ハ何ニテモ〇如也

輪ヲシテ帯へ通ヤリ長カクハサミセニ守集竿扇ヲ
サス早用ナリ

一同ヲ納ヤウノ

一ハロツルラクク又又ツルテ屋下ヘシク又ツルカ革ノ
アイタへ入ル松ヤリ長刀同セシ

一馬首ノ緒ニ方四方ト云

飾馬ハ四所紅ノ組縞房ケリ軍用ト後ニ方勝色
フサナシ

一千里皆ノ

一ツツノ髪ノ毛又シテ又若木ノムクゲノアノ皮又八月比ノ
ニヤウカラ加リ家ノ水ニヒタシワラサマセ四ハシメ秘ナリ

秘三十日モ出スニハヨリ騎ニラハクロヲカケル妙ナリ

一息合樂法ノ

嘴太ノ鳥ノ口ヨリ腹一杯ニ牽キ子ヲツメ黒境ニシテ
細末シ人參一兩ニツラハズク練梅干ノ内ヲサカ

梅ノ内ヲ加ヘ宿ニツハミハミハツケル
一竿用ヤウノ

四寸ノ策ノカワリニツカウ

一古人策靴秘藏スレ

五尺ノムキニテ若ヘレ次信故夏ニ真州ノ端靴ニ男策
忠信鎧浪部太刀

一カ革ニ寸四寸ノ夏 犬長笠掛短レ

笠アケハニエラスコヘカ革ワマレ鞆下四寸大カ革止ルニ
鞆下ニ寸ハ鞆下ノ長短ハカ革ノ

古實免許狀

夫禮所謂本於天敬於地
例於鬼神達於人祭射御冠
昏朝聘故聖人以此示之而
國家得於正焉唯使人以
有禮知自別禽獸無禮危
言不離禽獸歟一日無禮危
有禮安喻節敬侮非禮自
早尊人以此恭敬是禮之奠
而為衣食起居宜壞國喪家
亡人所以失禮矣蓋本朝
自所行無自往昔至於今
一不當流常聞後醍醐帝
御宇如小笠原信濃守貞宗
祥賜給給旨旨馬馬之之家家名名
巍巍御御之之法法式式備備家家其其記記祿祿
射射多多而而後後奉奉鹿鹿苑苑院院義義滿滿
公公之之命命於於天天下下之之禮禮節節而而
秀秀武武家家規規於於諸諸士士學學之之故故
應應對對進進規規中中禮禮容容貌貌之之品品
美美而而不不野野以以茲茲合合於於身身義義
之二二字字訓訓野野以以茲茲合合於於身身義義
其書記亦許多予自幼時

依べし右自前し出れし中仲難是三献出多し
 カルキハ吸物中も買物付之相後居所の御子
 上取ヲ買物持行買物其後先ヨリトアヒサツ
 一献奉使者ヨリ片中ヤ一献奉買物
 看ヨトアヒ片御持物其後先ヨリトアヒサツ
 物多一献奉取付出物其後先ヨリトアヒサツ
 出二礼又二献奉取付其後先ヨリトアヒサツ
 アル片次へ之トクトシメヒカハ片取取相人取
 アヒサツノ片取取下ニキキ取取取取取取取取
 九取取取取取取取取取取取取取取取取取
 アラハ又取取取取取取取取取取取取取取取
 一礼スレセヒサツヨトアラハ取取取取取取取
 上ラ引込へし取取取取取取取取取取取取取
 一家出ラレ使者(對面)アヒサツアル取取取取
 料理取取取取取取取取取取取取取取取取取
 ニテ料理出へし右ノ料理半ハ姑方ノ取取取取
 伸退へし相料理取取取取取取取取取取取取
 男取取取取取取取取取取取取取取取取取

一高使若ハ右目六副使ハ箱者を上ナシ
 本保為相副使取

誓禮道具遣様

- 一道具モ去日ヲ上ラセ目モ六目モセスへし目録ハ引合ヲ何取モ後之思も
- 一御厨子 一節 取何日モ目し
- 一御足棚 一節 取取取取取取取取取取取取
- 一御前月 一 右取取取取取取取取取取取取
- 一御長持 十掉 住取取取取取取取取取取取取
- 一御取付 一 夕人ノ取取取取取取取取取取取取

月日 保者名

右日之使者取物酒堂へし小者へ酒取取取取取取
 書付ノ通取取取取取取取取取取取取取取取取
 何日ニテ道取取取取取取取取取取取取取取取
 入身ノ取取取取取取取取取取取取取取取取取
 心重手使者ハ取取取取取取取取取取取取取

一誓禮取取取取取取取取取取取取取取取取取
 取取取取取取取取取取取取取取取取取取取
 白取取取取取取取取取取取取取取取取取取
 取取取取取取取取取取取取取取取取取取取
 取取取取取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取取取取
 取取取取取取取取取取取取取取取取取取取
 取取取取取取取取取取取取取取取取取取取
 取取取取取取取取取取取取取取取取取取取
 取取取取取取取取取取取取取取取取取取取

一、右後醍醐天皇御宇、小笠原信濃守貞宗卿、
 奉 綸旨、常令 參內奉授弓馬之

一、高田守貞、信濃守貞、

障子ノ事、
 符ノ事、
 障子ノ事、
 符ノ事、

其

變

其

障子

符

其

障子

口 唯 瓶
 口 男 瓶
 口 本 砂
 口 托 子

此ノ事、
 符ノ事、
 障子ノ事、
 符ノ事、
 障子ノ事、
 符ノ事、
 障子ノ事、
 符ノ事、
 障子ノ事、
 符ノ事、

夫當流禮節者

後醍醐天皇御宇小笠原信濃守貞宗卿

奉 綸旨常令 參內奉授弓馬之

道家名普于天下固射御之法式備于

家其記錄太多而後小笠原兵庫助長秀嗣

奉鹿苑院殿義滿公之命正於武家之禮

節奉書于 幕下名當家弓法集又

大膳大夫長時朝參考諸家之記錄更補

之天文比信初落居之後小池貞成岩村

重久畑貞實星尊休等受之其式大

成又水嶋之成學之積年尤詳此儀其

書記亦莫大也雅之後幸辰市後幸辰市予幸辰市學幸辰市子幸辰市之有累年

之功故嘉禮之文書口授等悉與之且

有希望之旗則以盟誓可被傳授之者也

一騎射人裝束ニテ射子ニ騎馬ヲヒカセテ形ニテ各一礼
 シテ馬ニ乗松指ヲシテ後ノ方ニ馬ヲ直ニ使用シ
 シテ射也ト打上声ヲカケ射放ス所ニテ的ニ的ニ
 射取リ此所ニテ的ニ的ニ夫声射取リ此所ニ
 三騎射取リ此所ニテ的ニ的ニ夫声射取リ此所ニ
 一騎射取リ此所ニテ的ニ的ニ夫声射取リ此所ニ

乳通ヲ回シテ二寸延テ胴ノ寸ヲ定ム是ヲ
 上ノカワトシテ一寸切テホツテトス右ノ寸ヲ
 三ツ折シテ一ツヲ切テ残ルニツラ四寸切捨テ
 残リヲ前ノ夕ケトス右ノ乳繩ヲ二寸切テ
 後ノ寸トス

- 乳繩 二尺八寸五ト
- 一ノカワ 三尺五ト
- ホツテ 二尺九寸五ト
- 前 一尺四寸三ト
- 後 一尺六寸三ト
- 又 一尺三寸三ト
- 又 五寸三ト

鎧 乳繩 二尺八寸五ト 八ツ折

七ツ上 二尺四寸五ト
 一寸落ホツテ 二尺三寸五ト

ワイタテ
 上 四ツ一 七寸 下 四寸五ト
 長 八寸 一寸ノ人
 合イタ ニツ 七寸 長 三ツ 一尺五ト
 後 八寸 下 一尺五ト
 ワキ 六十寸五ト
 ケサニツ 一尺四寸

九
六
七
六
三

一 啓明ノ片上下腰ノ目子持節寸法

上九分間、五分下、節六分又上、節七分間、三分下、

一色直小袖ハ、腰後下迄、白羽二重、袷、裾、紐、

降、帯、冬、加、下、ノ、片、節、寸、法、

一 腰、寸、法、ノ、中、袖、寸、法、

寸、法、ノ、中、袖、寸、法、

一 寸、法、ノ、中、袖、寸、法、

一 寸、法、ノ、中、袖、寸、法、

一 寸、法、ノ、中、袖、寸、法、

鴛鴦 衾箱寸法

長 九寸
中 六寸五分
深 三寸五分

愛款守袋箱

長 八寸
中 四寸五分
深 二寸七分

籬 綸張箱

長 一尺九寸二分
中 五寸二分

惣高サ

四寸七分

鴉目 莫黒目にて

同 臺寸法

高サ 五寸
玉子形 紫藤
大キサ 箱ニ應ル

一 縮張

長 一尺八寸 二通

竹炭長 一尺二寸 諸凡

百廿本 六十本 二倍ニスル

一 矢箱

木口幅 三寸四方

らんろく 浪のつきらん

紺黒草

長サハ 矢尺ニ應ル 一尺内ニ 矢寸

ハ 杉木入ル

一 鯨尺 二本

箱 一尺三寸五分

中 六寸

高 二寸五分

合口

銀ツキらん 平舟 藤葉

臺高サ 五寸五分 一尺三寸五分

一 鏡直垂寸法

前タケ 一尺七八寸位 (着尺ノ肩衣ニシテ)

後タケ 二尺一二寸位

袖口 九寸五歩位 (袖廣ハ在時ハ一尺七寸位ニテナリ着尺ノ袖ニモスヘシ)

奥ニテタケ 一尺九歩位

ユキ 着尺ニ寸長ニスレ 鏡直垂ハ二寸長 又ハ三寸長ニモ 爲仗ハ三寸長

襟タケ 前ヨリ

口ハハ

右大概ノ寸法ナリ

身ハ、ヲ定ルヘハ着尺ヲカツニ割身ニツ

奥袖ニツ轄神ニツトルヘキナリ

袴着尺ニテ三幅ナリ

相引腰ヨリ 半大ロハ袴ノニツニツニ

三寸高ナリ 少シ長キ方ヨシ

紐長サ前 後

右之月易キアルヘシ

胸紐ニ ^{ナキセ} 二尺三寸 五ト外キアゴニ五ト 五ト半廻リ

神結ニ 五尺位 袖ニ随フ袖ヨリ 一尺三寸アル

裾結ニ 踏廻レ一ハイ 五寸半餘ル九四尺八寸ナリ 五歩廻リ

脛巾紐ニ 六尺五寸三歩廻リ

一 貝桶緒 真紅唐折チ子尺 一行器

長サ 二丈五尺 一丈八尺

太サ 一寸二分廻リ 一寸

房長サ 七寸 太サ四寸廻リ 六寸五分

右附札 二丈四尺

一 挾箱緒 右同断

長サ 八尺 蛇口ハ外

太サ 壹寸八分廻リ

房長サ 六寸五分 太サ四寸三分廻リ

右附札 六尺 蛇口ハ

一 長刀緒 真紅四ツ折

長サ 一丈五尺二寸

太サ 九分廻リ

房 四寸五分

右附札 七分廻リ 長サ一丈五尺

一 長柄袋ノ緒

長サ 二丈五尺

太サ 一寸二分廻リ

房 六寸五分

右附札 長サ二丈

一 守刀袋紐 長九尺 房二寸五分

一 同箱寸袋

長一尺七寸 横八寸 深 三寸五分 形アリ
ツリ形中 二寸五分 房サ一寸五分 形下五分

一守袋寸法 長五 幅七寸五分
 一内紐三尺 房二寸八分

一上小紐 四節
 長一尺五寸 太一寸二分半 外房一寸五分

一上筒守紐
 長一尺一寸四分 外房一寸五分

一胸守寸法 諸共
 長九寸七分 五分 長五尺 太一寸五分 廻紐先折分八寸

一物尺箱寸法 内法
 長一尺二寸一分 中三寸六分 高一寸五分 但和合ノタ

一貝桶ノ箱
 長一丈九尺 房一寸七分 下長一丈九尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

一冠棚ノ箱
 長一丈二尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

一長刀箱
 長一丈二尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

一長柄傘箱
 長一丈五尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

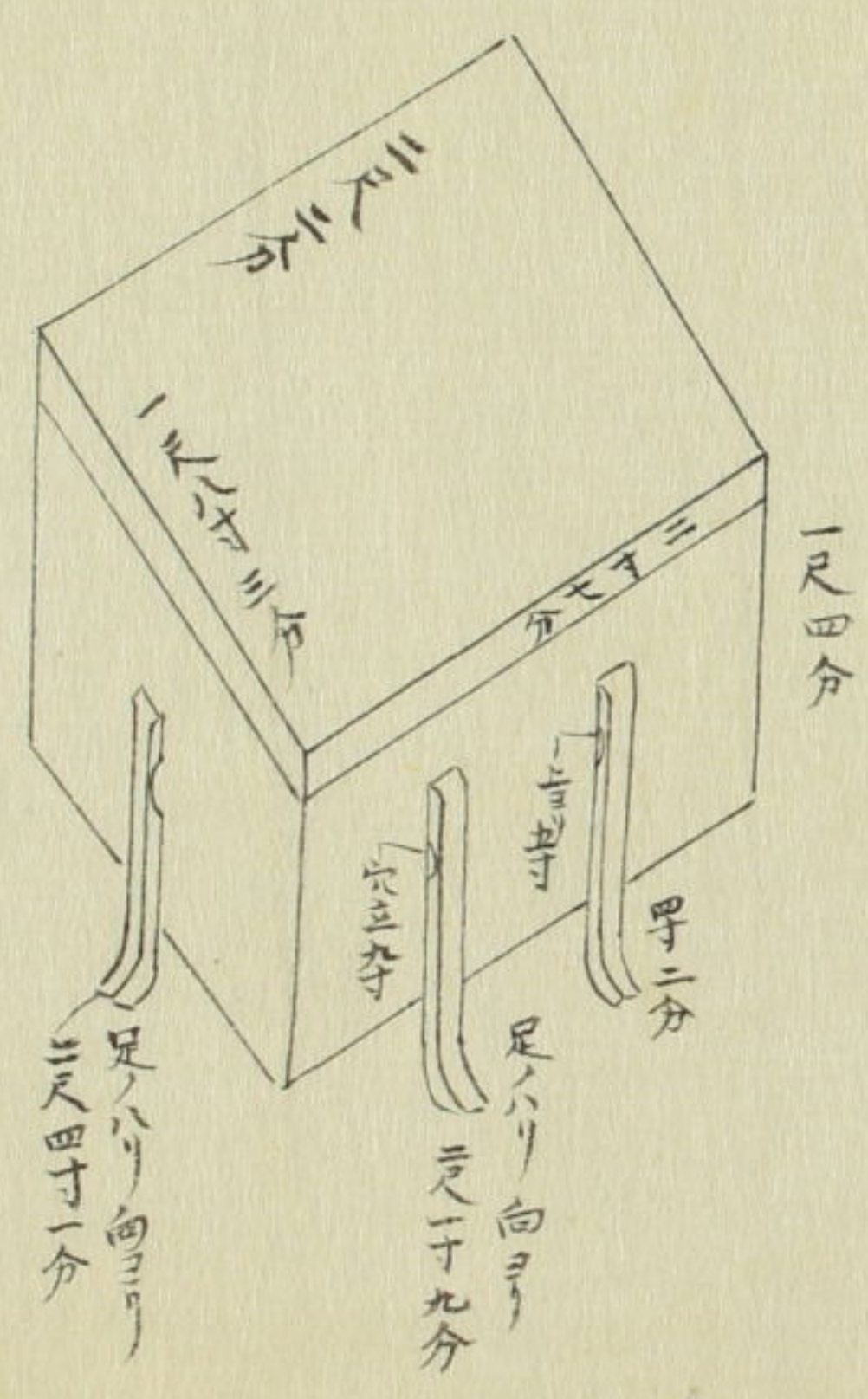
一刀脇指箱ノ箱
 長一丈九尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

一天兜ノ蓋
 長一丈九尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

一茶釜箱
 長一丈九尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

一上ノ横木
 長七寸 中八分 厚三分半 但天カウ背ノ中ノ形

一橋ノ筭
 長一丈九尺 房一寸七分 太一寸七分 廻



右ノ寸法ノ二七二ハ一對ノ尺ワク寸法

一紐毛箱
 長一丈九尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

一長一丈九尺 房一寸七分 太一寸七分 廻

火桶



上六寸五分 下八寸

九寸五分

輿基

